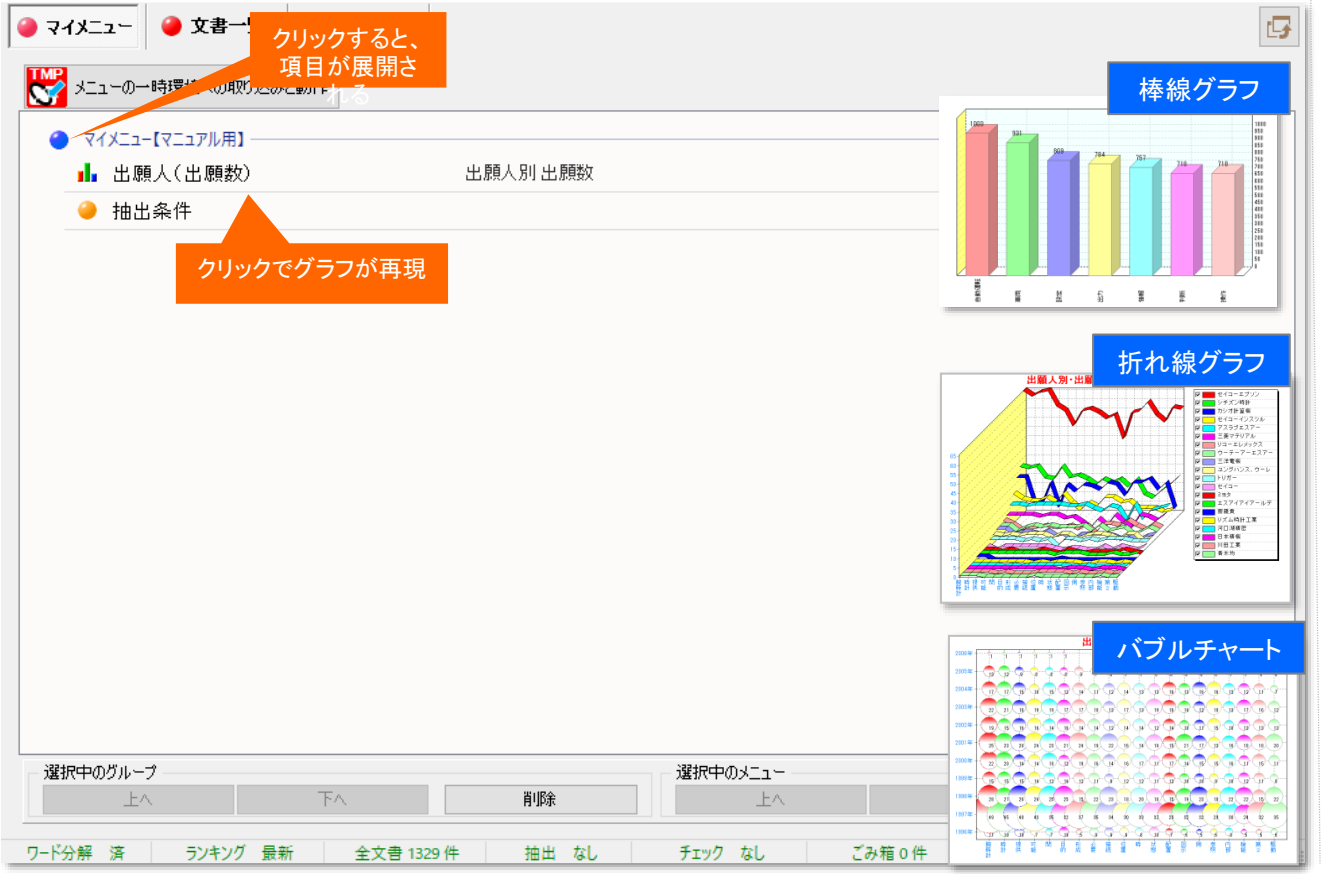
【グラフ作成機能 】

☑ グラフブラウザの紹介

グラフ作成機能1

グラフ作成：軸の選択　マウス操作だけですぐにグラフが再現できる



ここでの注意ポイント！

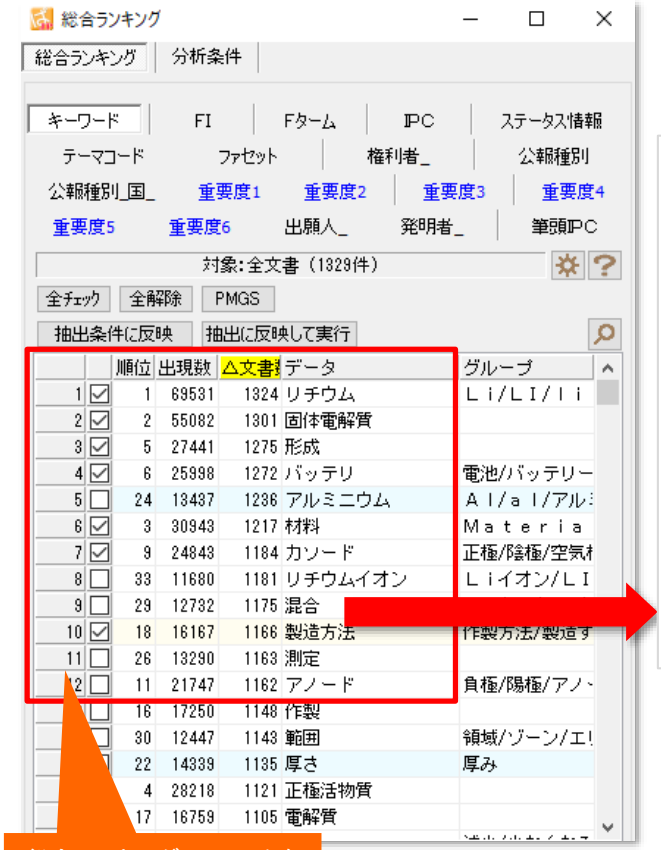
■　グラフの種類

- 棒グラフ･･･棒の長さが量を表します。項目ごとの量を比較する際に便利です。
- 折れ線グラフ･･･量の変化を知るとともに、量の中間値がわかるなどの利点があります。
- バブルチャート･･･縦軸、横軸、円の大きさで、3つの項目の関連性を表すことができます。

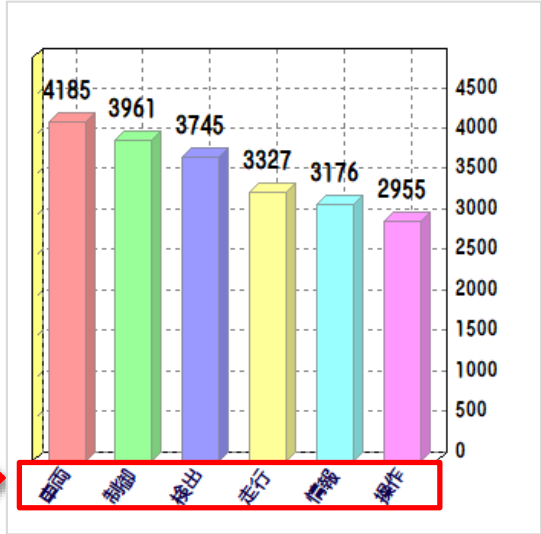
※　ワード分解機能を使用していない場合は、キーワードを軸としたグラフの作成ができません。

グラフ作成機能2

グラフ作成：総合ランキングとの連動



総合ランキングでチェックを入れた項目が軸となる



総合ランキングのチェックとグラフの軸が連動する

ここでの注意ポイント！

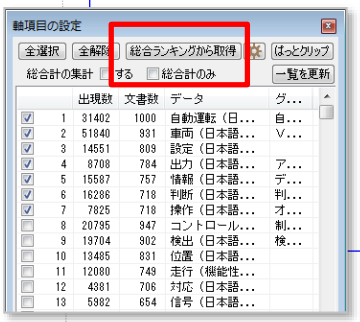
■ 総合ランキングとの連動

『総合ランキング』で、チェックをつけた項目が、グラフの軸となります。
チェックを活用することで、希望のキーワードや出願人等を軸としたグラフが描けます。

※ 『総合ランキング』の表示数（集計順位の上限）は、環境設定で変更することができます。

※ グラフの軸にしたいワードや出願人名などが見つけにくいときは、検索機能をご利用ください。マウスの右クリックメニューからご利用いただけます。

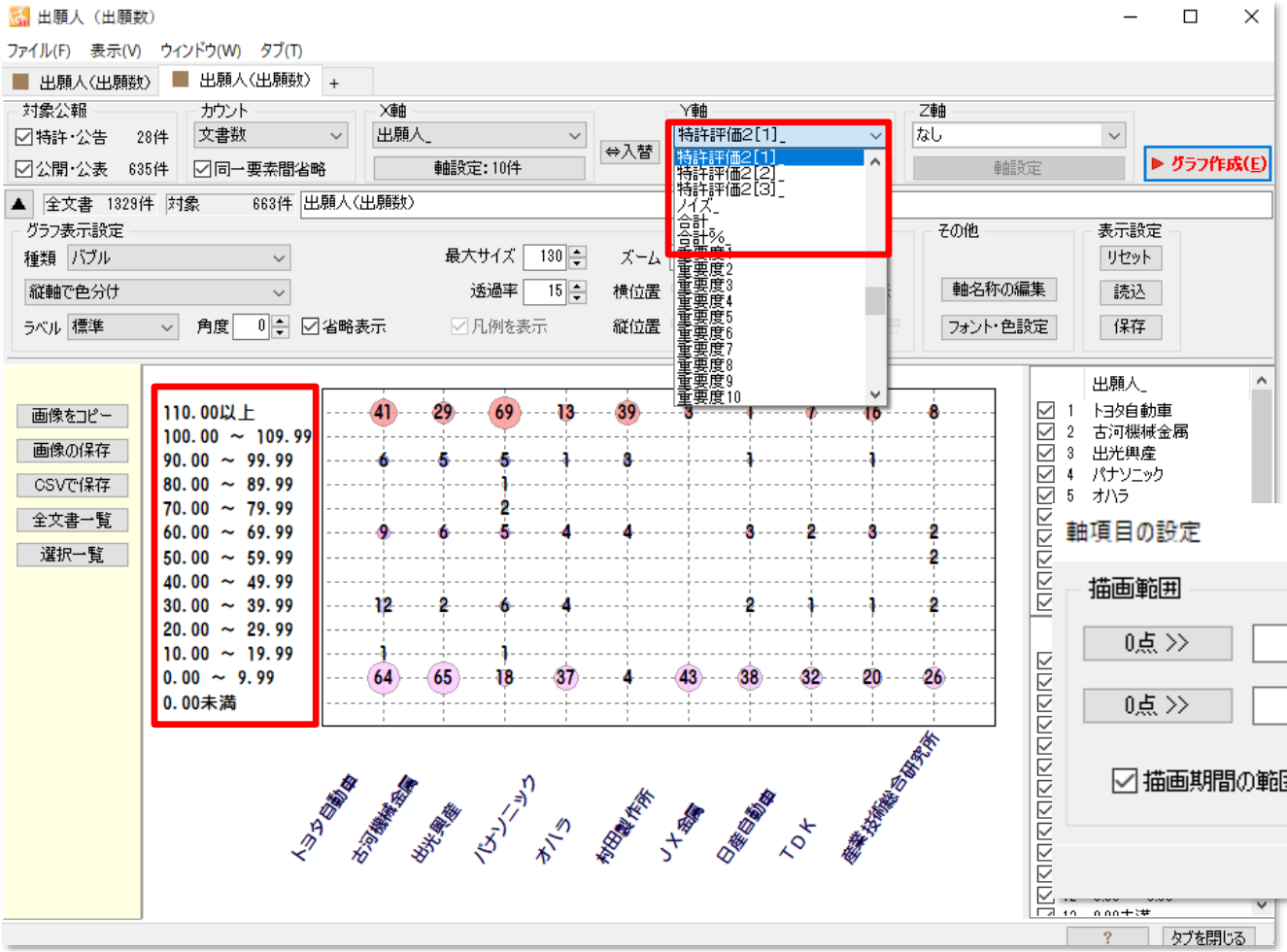
※ 「ぱっとマイニング・ビューア」では、グラフを書き変えない限り、マイメニューに登録されたままのものが表示されます。

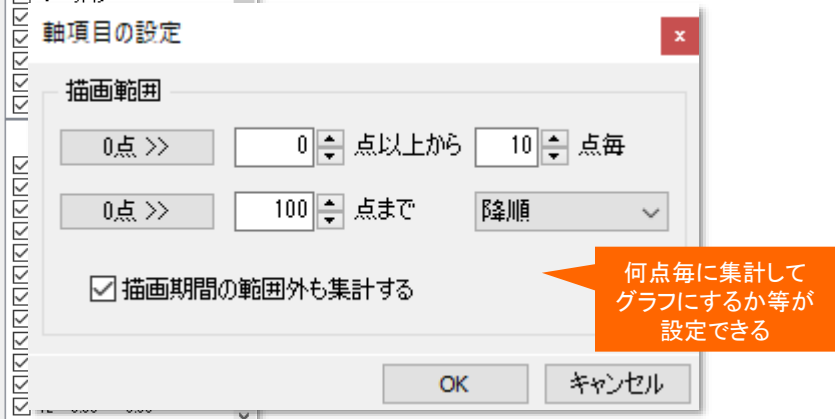


グラフ作成機能3

グラフの軸:「特許評価」「ノイズ」「合計」「合計%」

描画する点数範囲も設定できる





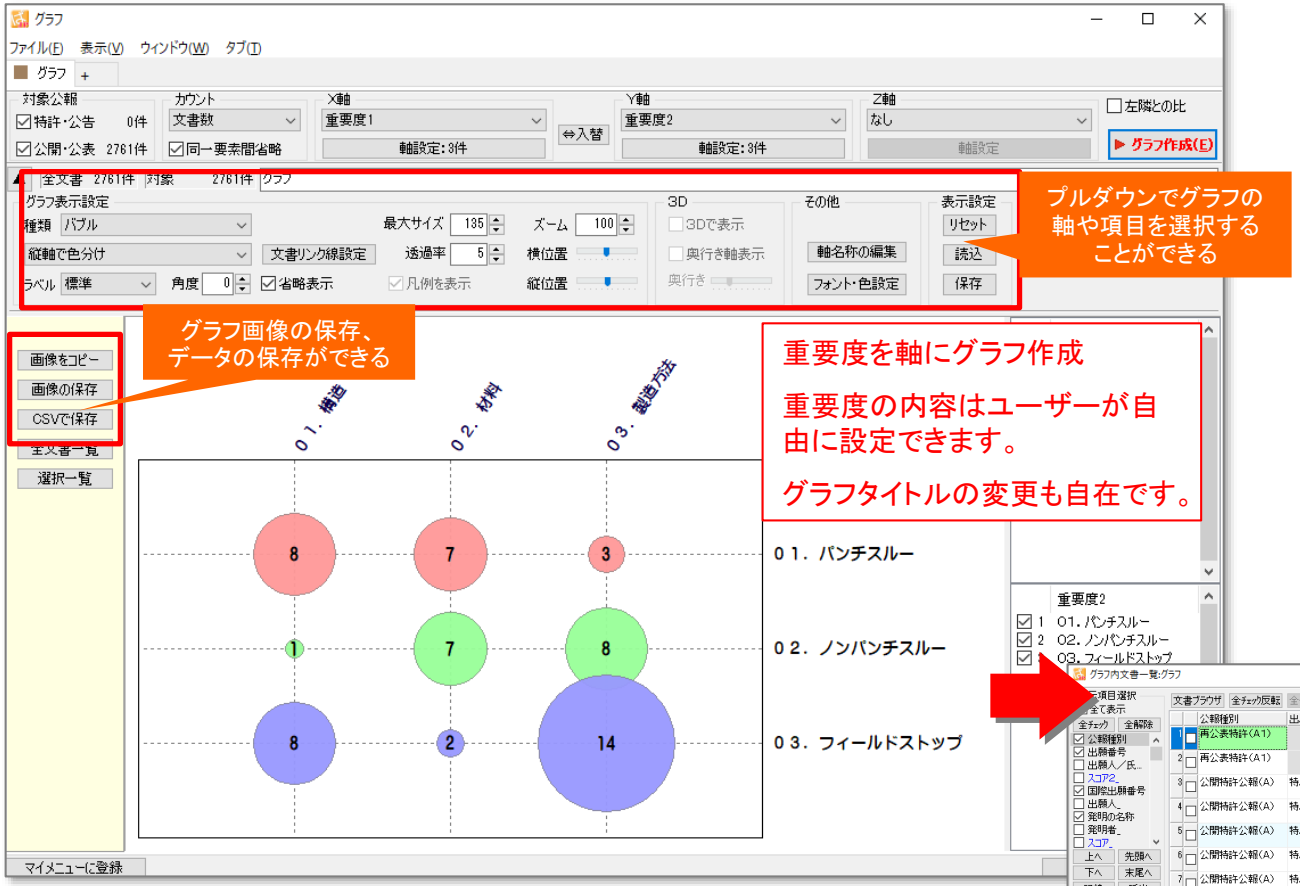
何点毎に集計してグラフにするか等が設定できる

- グラフの軸に、「特許評価1」「特許評価2[1][2][3]」「ノイズ」「合計」「合計%」が選択できるようになりました。
- 「合計」はスコアからノイズを減算したもの。「合計%」は、合計を100分率表示したものです。
- 軸設定において、下図のように点数範囲や軸の表示順番等を設定することができます。

グラフ作成機能4

※「ぱっとマイニング・ビューア」では、
一時的な再現のみが可能

グラフ作成：グラフブラウザでの軸選択



グラフをクリックすると・・・
「グラフ内文書一覧」が表示される

ここでの注意ポイント！

■ グラフブラウザでの軸選択

グラフの種類、集計対象、横軸項目、縦軸項目を、プルダウンで選択することができます。
〔縦横入替〕ボタンをクリックすると、グラフの縦軸項目と横軸項目をワンクリックで入れ替えることができます。

■ グラフ画像の保存

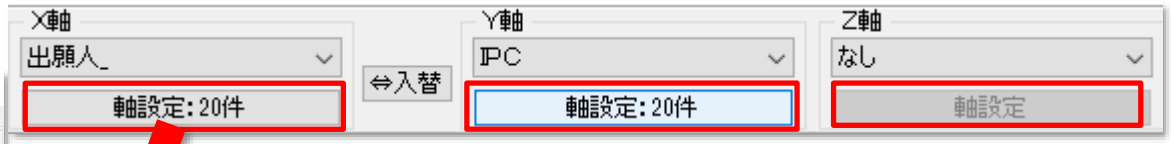
〔画像の保存〕ボタンをクリックすると、グラフ画像を画像ファイルとして保存することができます。.bmp形式での保存となります。
〔グラフ画像をコピー〕ボタンをクリックすると、グラフ画像をクリップボードにコピーします。そのままエクセルに貼り付けるなど、ご活用いただけます。

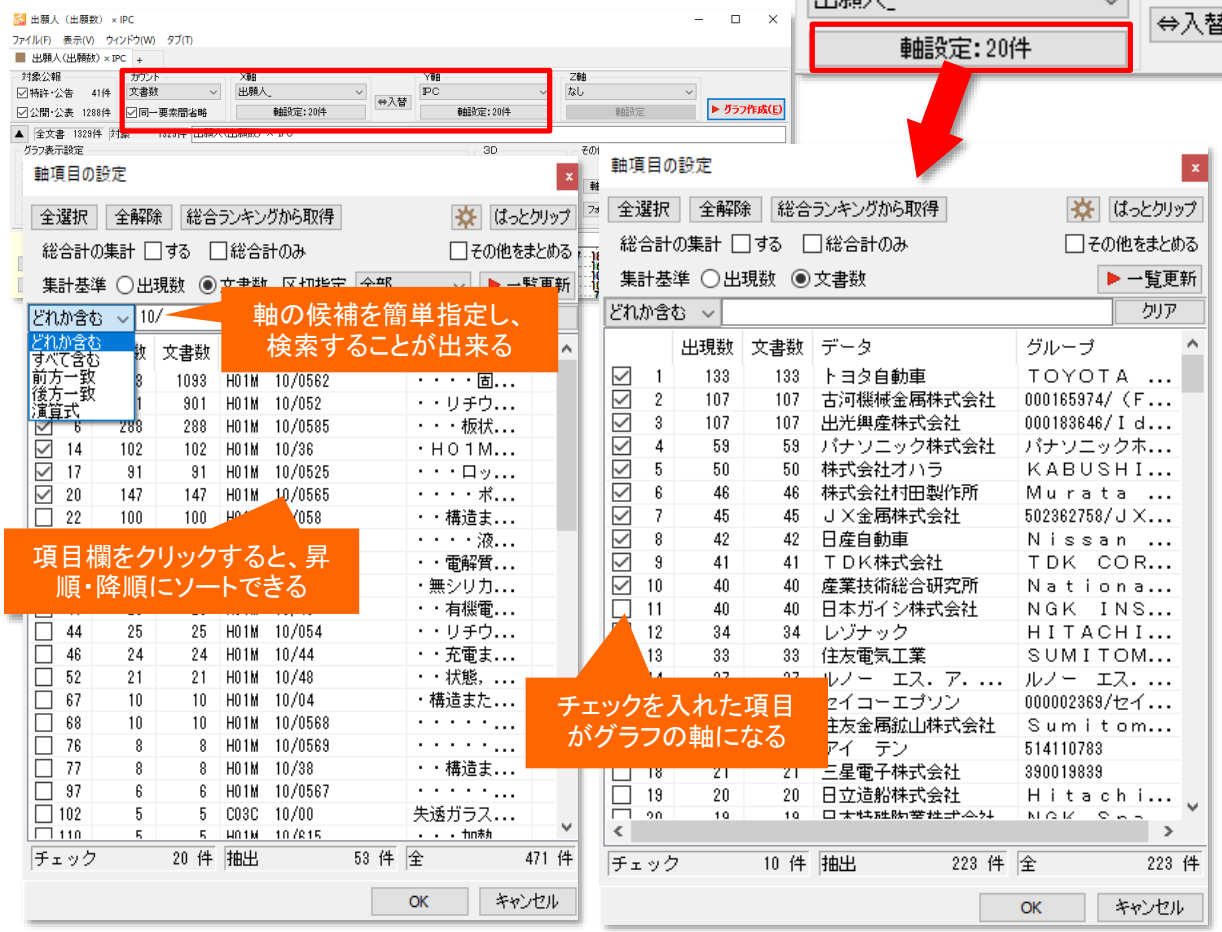
※ 〔CSV形式で保存〕ボタンをクリックすると、グラフ作成のもととなる数値データを、CSV形式で保存することができます。

グラフ作成機能5

グラフ作成：軸項目の詳細変更

グラフの軸設定がその場で変更できる





ここでの注意ポイント！

■ 軸設定ウィンドウ

〔選択〕ボタンをクリックすると、『軸設定』ウィンドウが立ち上がり、チェックボックスで軸項目の詳細を設定することができます。

■ 〔デフォルト〕ボタン

『軸設定』ウィンドウの〔デフォルト〕ボタンをクリックすると、総合ランキングでの選択状態に戻すことができます。

■ 総合計を集計する

選択したワード等の総合計を軸に加えます。

■ 抽出条件の入力枠

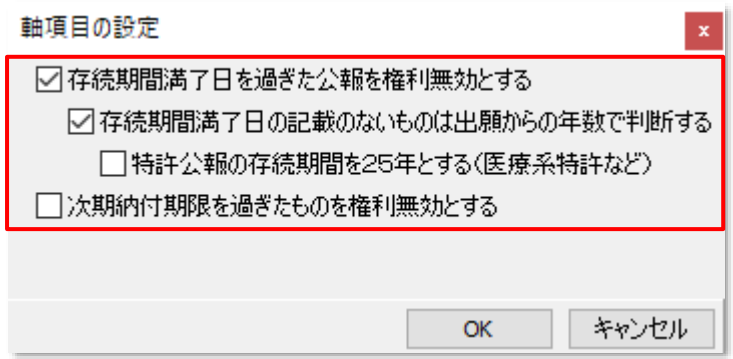
入力した文字を持つ候補を絞り込んですばやく設定出来ます。

グラフ作成機能6

グラフの権利状態判定の「軸項目の設定」

存続期間完了日から権利消滅を判定！！

グラフの軸項目に、『権利状態詳細判定』か『権利状態簡易判定』を選択した場合、「軸設定」をクリックすると、左のような「軸項目の設定」画面が表示されます。



■ 存続期間満了日を過ぎた公報を権利無効とする
・・・グラフ作成時に、経過情報の「存続期間満了日」を過ぎている場合、当該公報を「権利化後消滅」または「権利化前消滅」に分類します。

■ 存続期間満了日の記載のないものは出願からの年数で判断する
・・・「存続期間満了日」のデータがない場合は、出願日から20年を経過している場合に、当該公報を「権利化後消滅」または「権利化前消滅」に分類します。

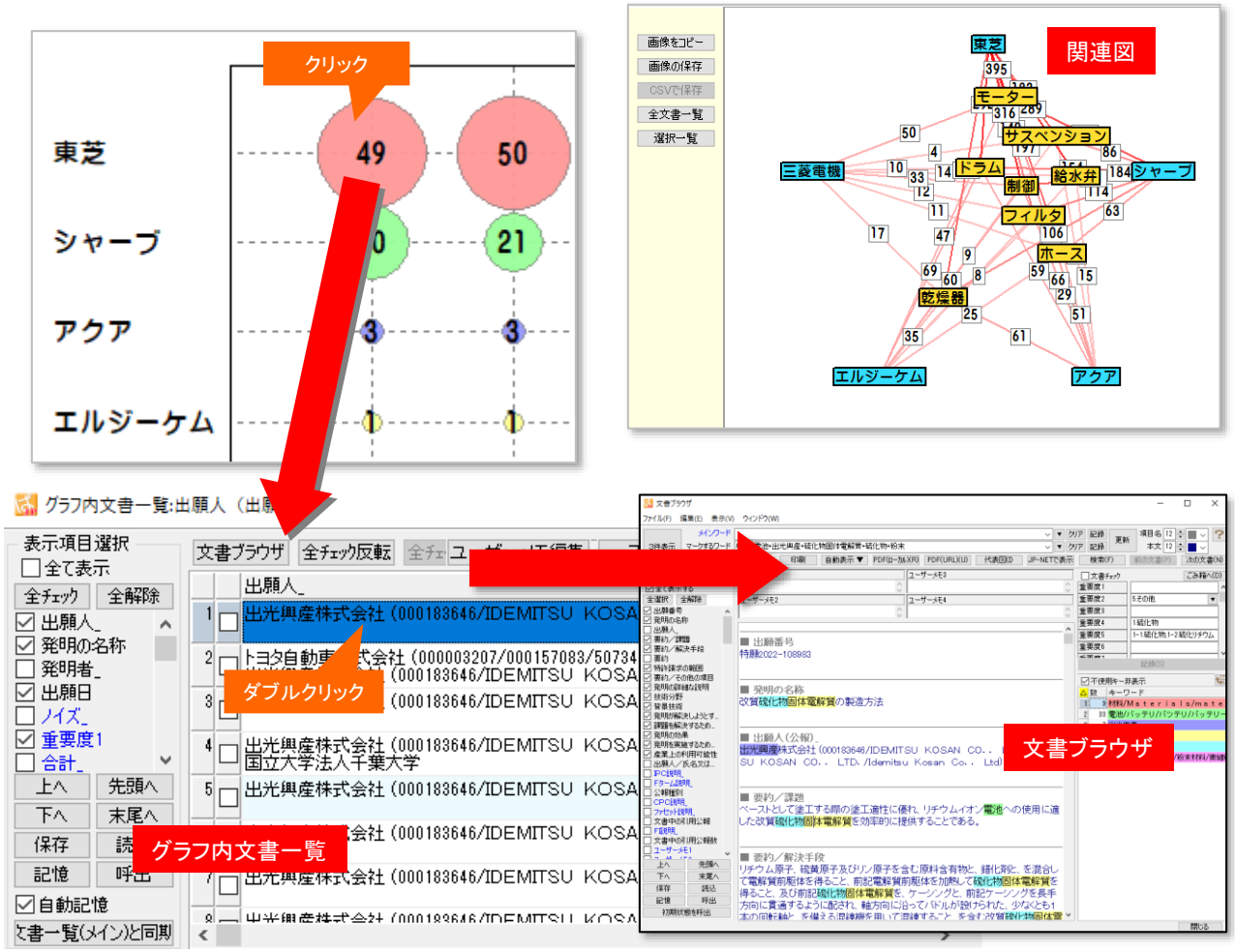
■ 特許公報の存続期間を25年とする(医療系特許など)
・・・「存続期間満了日」のデータがない場合は、出願日から25年を経過している場合に、当該公報を「権利化後消滅」または「権利化前消滅」に分類します。

■ 次期納付期限を過ぎたものを権利無効とする
・・・グラフ作成時に、経過情報の「次期納付期限」を過ぎている場合、年金不納と判定し、当該公報を「権利化後消滅」または「権利化前消滅」に分類します。
※ 経過情報が最新でない場合は、データ取得後に年金が支払われ、権利が抹消されていない場合があるため、注意が必要です。

※ JP－NETのデータのダウンロード形式には、「テキスト形式」「CSV形式」「エクセル形式」の3種類の形式があります。ぱっとマイニングで読み込み可能な形式は、「テキスト形式」と「CSV形式」です。
【審査経過項目】をご利用になる場合は、「CSV形式」で、作成モードを『タイプ3』に設定してデータをダウンロードし、テキスト形式のデータと結合してご使用ください。

グラフ作成機能7

グラフをクリックすると一覧が表示される



ここでの注意ポイント！

■ グラフ内文書一覧を表示

作成したグラフの、X軸とY軸の交点をクリックすると、そこに含まれる文書の一覧が表示されます。

■ 文書ブラウザを表示

グラフ内文書一覧は、横一行がひとつの文書となっています。
気になる文書のセルのどれかをダブルクリックすると、文書ブラウザが立ち上がり、文書の内容を読むことができます。

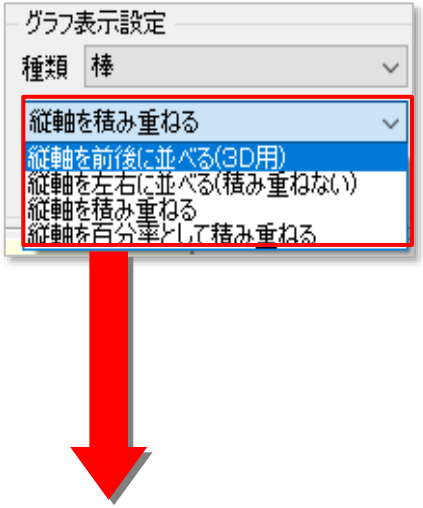
■ 関連図の範囲選択

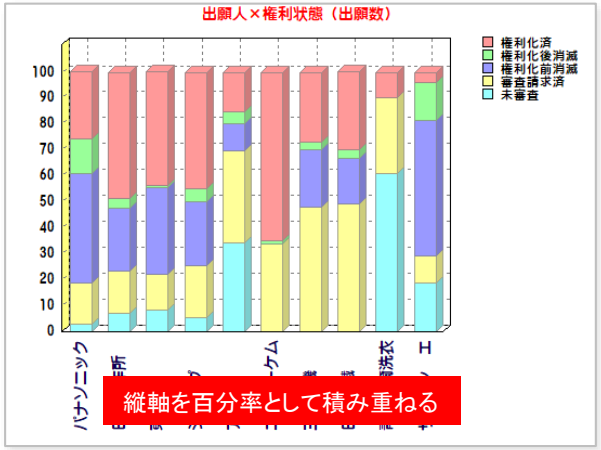
関連図では、マウスでドラッグして範囲を選択し、『選択一覧』ボタンをクリックすると、範囲に含まれるラベルの文書がすべて一覧表示されます。

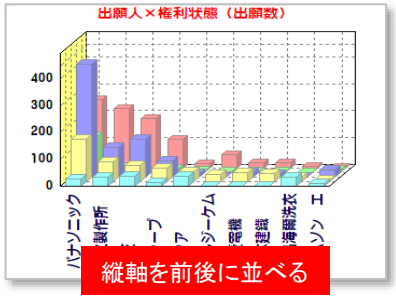
グラフ作成機能8

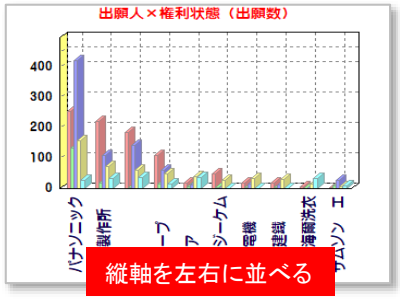
表現方法の変更

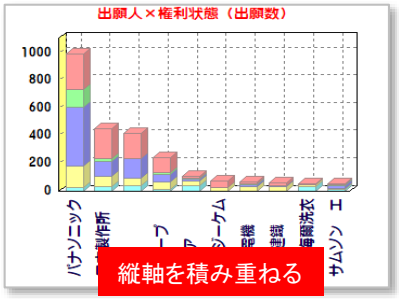
棒グラフで割合を表示











ここでの注意ポイント！

■ グラフ表示設定の変更

グラフの種類で、『棒グラフ』『バブル』『バブル3D』『複数_棒』『複数_バブル』を選択すると、縦軸の並べ方やバブルの色分けなどを選択する、プルダウンが表示されます。

■ 百分率の活用

「縦軸を百分率として積み重ねる」を選択すると、横軸に対する縦軸項目が、文書数ではなく比率（%）で表現されます。
左図のように、出願人別の権利状態など、割合を対比させたい場合に効果的です。

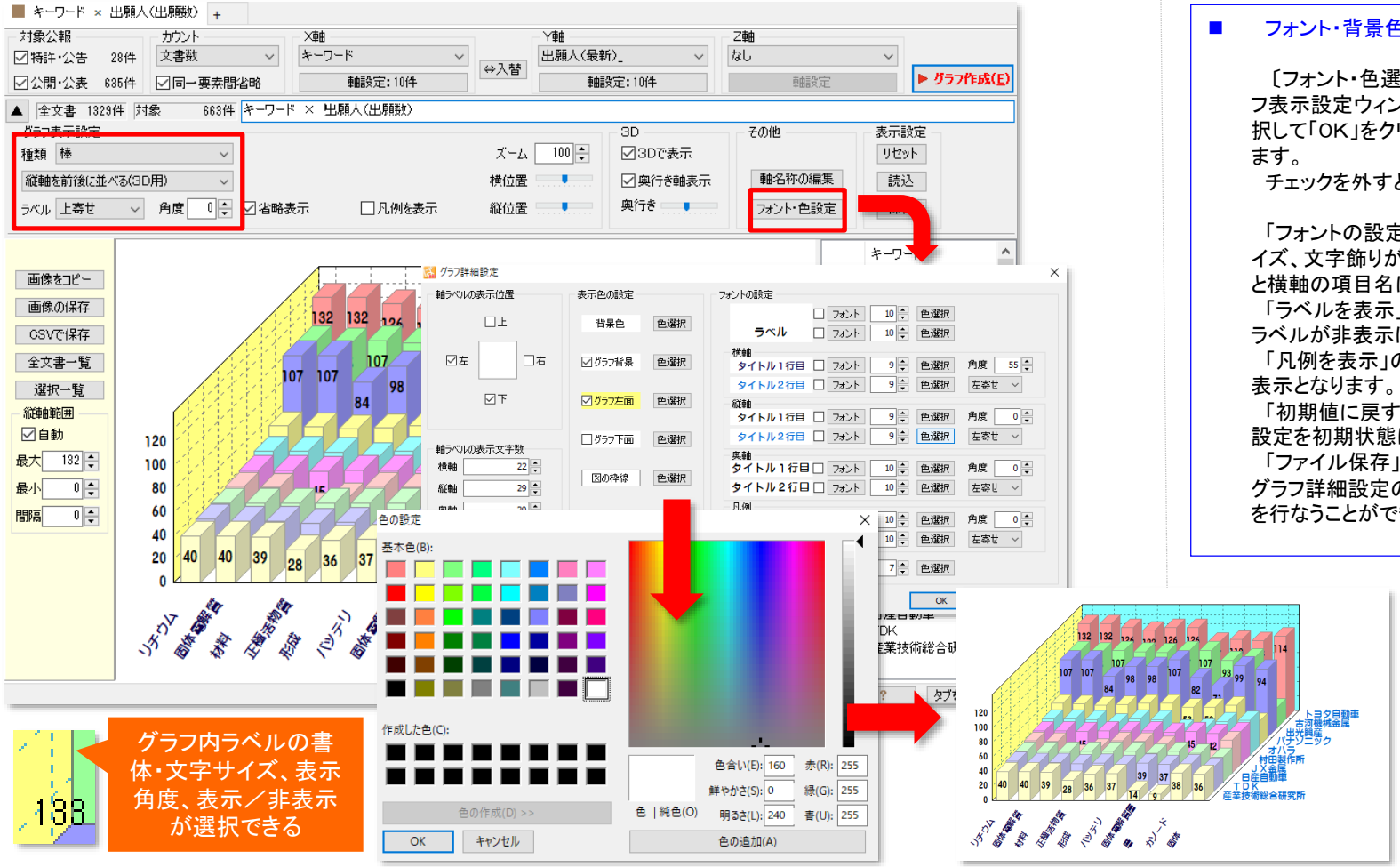
■ 3D設定

3Dの「3Dで表示」をチェックすると、3D表示に、チェックを外すと、平面表示になります。「奥行き軸表示」のチェックをいれると奥行きの軸が表示されます。奥行きのスライダーを動かすと奥行き幅を設定できます。

グラフ作成機能9

グラフ作成：背景色の変更

グラフの背景色が変更できる！！



グラフ内ラベルの書体・文字サイズ、表示角度、表示／非表示が選択できる

ここでの注意ポイント！

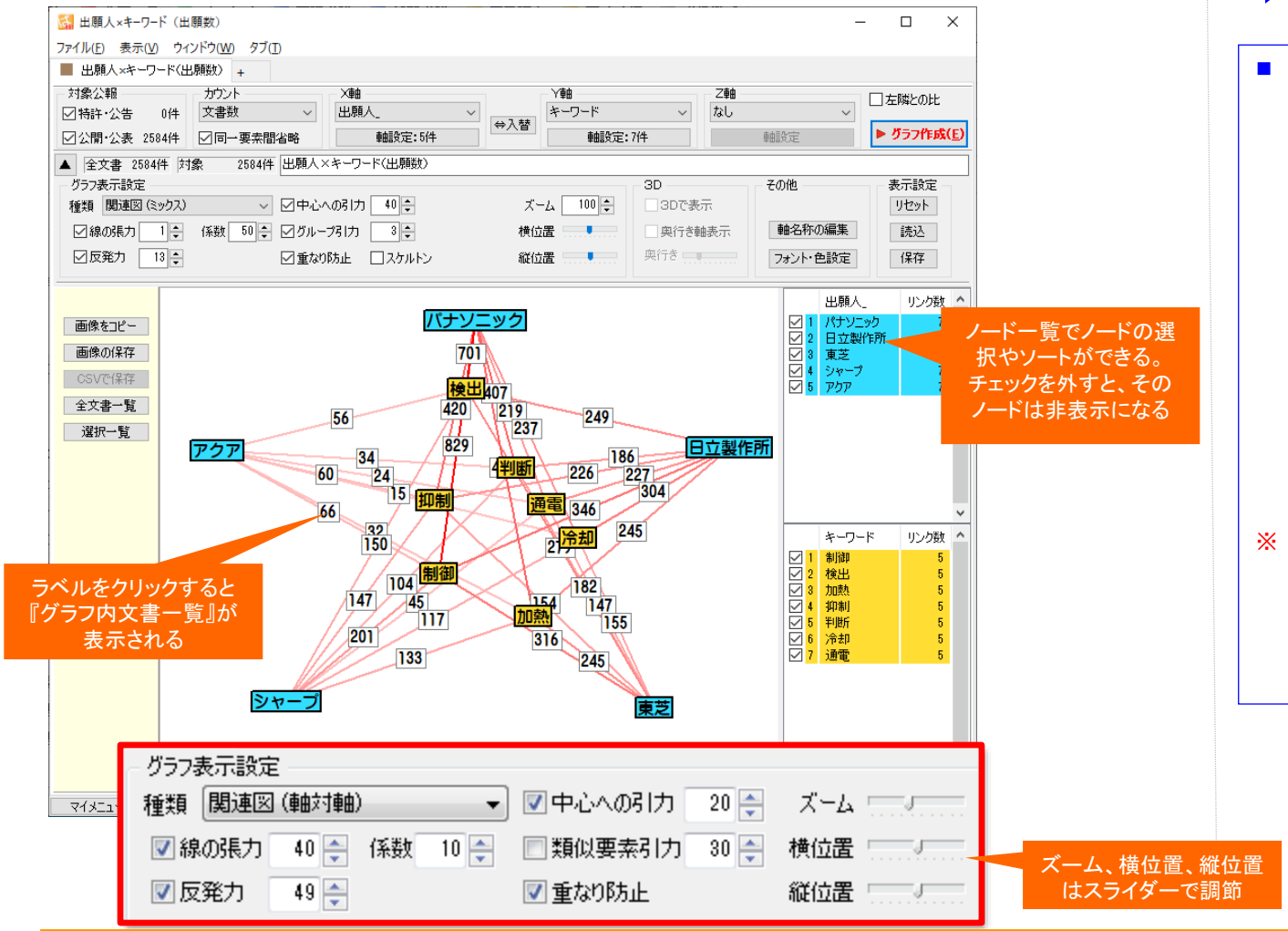
■ フォント・背景色の選択

〔フォント・色選択〕ボタンをクリックすると、グラフ表示設定ウィンドウが立ち上がります。色を選択して「OK」をクリックすると、背景色が適用されます。
チェックを外すと、色の適用が外されます。

「フォントの設定」・・・フォント、スタイル、文字サイズ、文字飾りが設定できます。ラベルと、縦軸と横軸の項目名は、表示角度が設定できます。
「ラベルを表示」のチェックをはずすと、グラフ内ラベルが非表示になります。
「凡例を表示」のチェックをはずすと、凡例が非表示となります。
「初期値に戻す」・・・表示色の設定、フォントの設定を初期状態に戻します。
「ファイル保存」「ファイル読込」・・・ファイルにグラフ詳細設定の設定を保存することや、読込を行なうことができます。

グラフ作成機能10

グラフ作成：関連図



ここでの注意ポイント！

■ 関連図

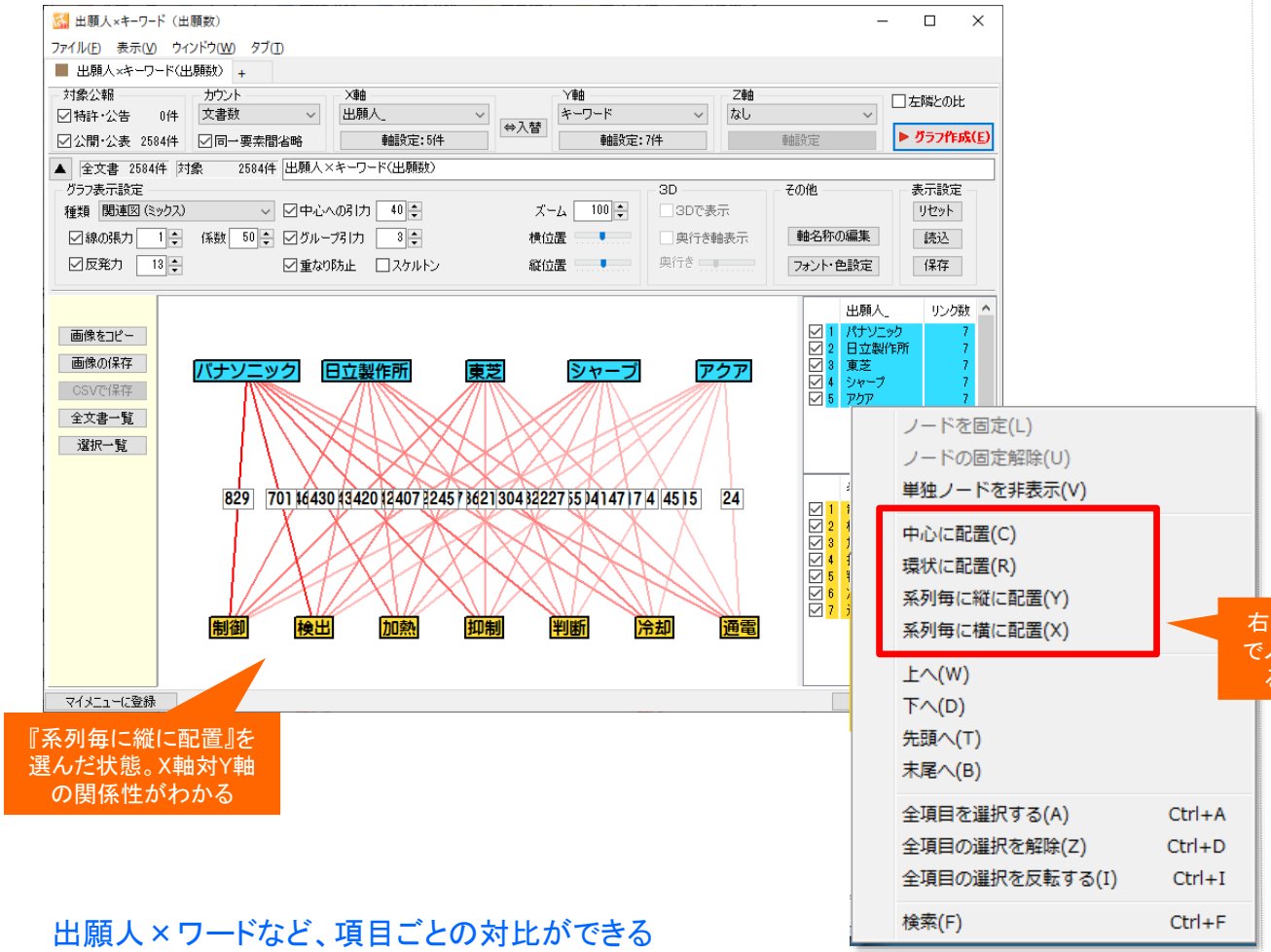
「中心への引力」・・・各ノードを画面の中心部に引き寄せる強さです。

「類似要素引力」・・・類似するコードなどを近くに集めることができます。
「線の張力」・・・関連線でつながれたノード同士を近づけようとする力です。
「係数」・・・件数×係数を「線の張力」に合算します。件数の多い、つまり関連度合いの強いノードを近くに寄せることができます。
「重なり防止」・・・チェックを入れておくと、ノードが重なりあって表示されることを防止します。
「反発力」・・・ノード間の反発力です。数値が大きいほど、ノード同士が離れようとします。

※ 「ぱっとマイニング・ビューア」では、グラフを書き変えない限り、マイメニューに登録されたままのものが表示されますが、関連図のノード固定はマイメニューに登録されません。ご注意ください。

グラフ作成機能11

グラフ作成：関連図(コンビ)



『系列毎に縦に配置』を選んだ状態。X軸対Y軸の関係性がわかる

右クリックメニューでノードを整列させることができる

出願人×ワードなど、項目ごとの対比ができる

ここでの注意ポイント！

■ 関連図（コンビ）

関連図（コンビ）は、X軸に選んだ項目と、Y軸に選んだ項目を対比して、要素間のつながりをビジュアル化することができます。

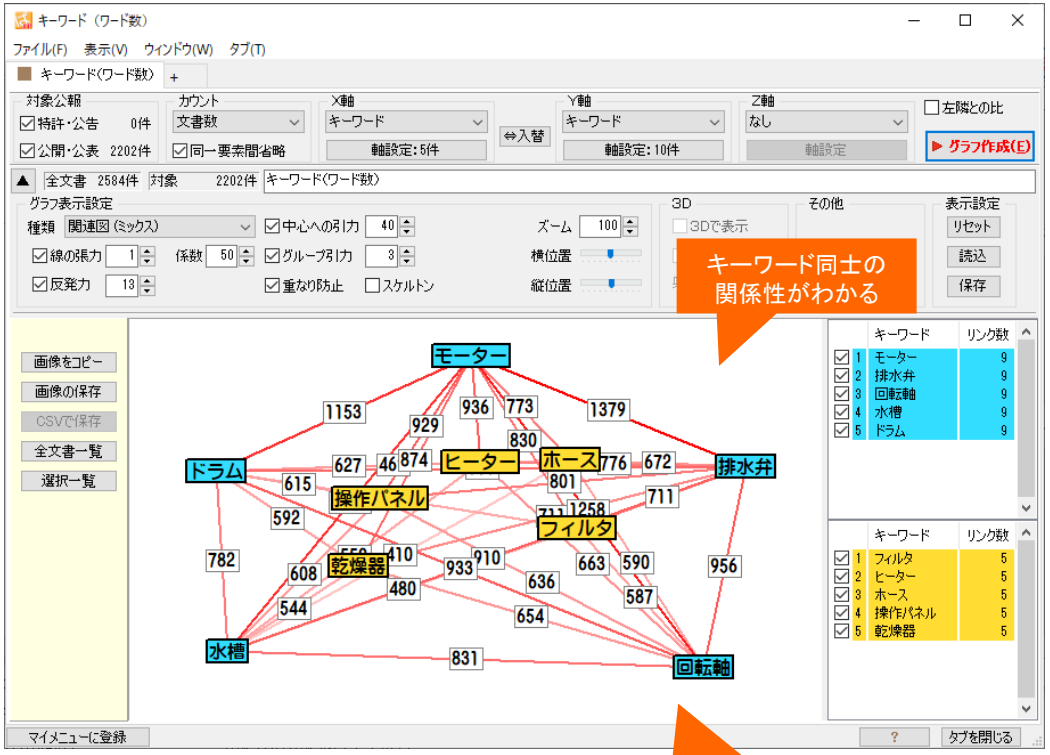
Z軸を用いて、3軸の対比を行なうこともできます。

右クリックメニューで、ノードを整列させると、要素間の関係性がわかりやすくなります。

※ 「ぱっとマイニング・ビューア」では、グラフを書き変えない限り、マイメニューに登録されたままのものが表示されますが、関連図のノード固定はマイメニューに登録されません。ご注意ください。

グラフ作成機能12

グラフ作成：関連図(ミックス)



キーワード同士の
関係性がわかる

関連図（ミックス）は、
X軸とY軸で同じ項目を
選んだ場合省略されます

キーワード×キーワードなど、同一項目内でのつながりをビジュアル化

ここでの注意ポイント！

■ 関連図（ミックス）

関連図（ミックス）は、X軸とY軸に同じ項目の異なる要素を選択することを前提にしています。
たとえばX軸とY軸で、それぞれ異なるキーワードを選択し、X軸のキーワード群と、Y軸のキーワード群の関連性を浮き彫りにすることができます。

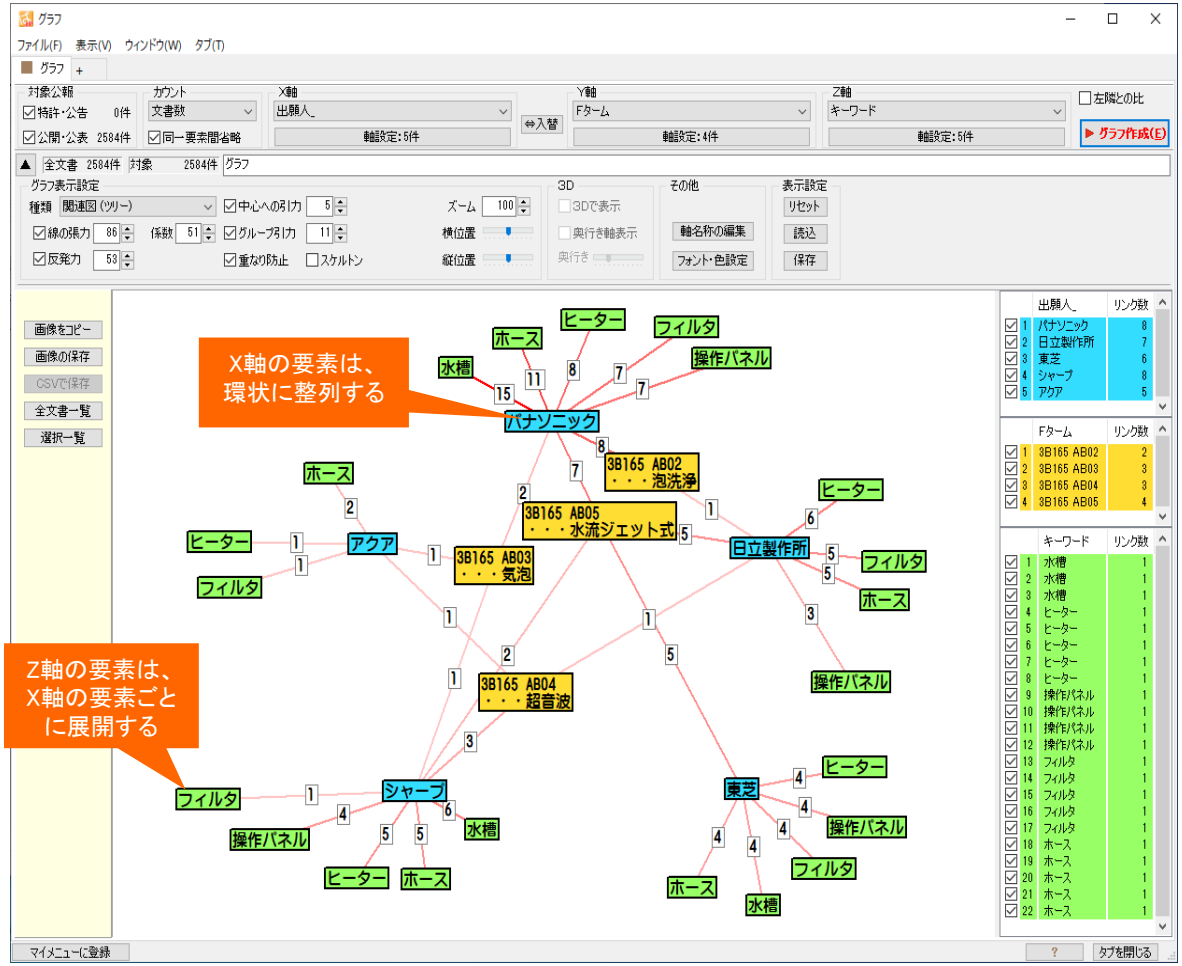
X軸とY軸に同じ要素（たとえば同じ単語）を選択した場合は、要素の重複を防ぐため、X軸の要素だけを残して整合性を図ります。
Z軸を用いて、3軸の対比を行なうこともできます。

右クリックメニューで、ノードを整列させると、要素間の関係性がわかりやすくなります。

※ 「ぱっとマイニング・ビューア」では、グラフを書き変えない限り、マイメニューに登録されたままのものが表示されますが、関連図のノード固定はマイメニューに登録されません。ご注意ください。

グラフ作成機能13

グラフ作成：関連図(ツリー)



ここでの注意ポイント！

■ 関連図（ツリー）

関連図（ツリー）は、X軸に選んだ要素を環状に整列させ、その内側にY軸の要素を、外側にZ軸の要素を展開します。

Z軸の要素は、X軸の要素ごとに展開します。

たとえば出願人をX軸とし、Y軸に技術分野を示す分類コード、Z軸に課題に関するキーワードを選択すると、当該分野における企業ごとの開発・出願傾向を簡単にビジュアル化することができます。

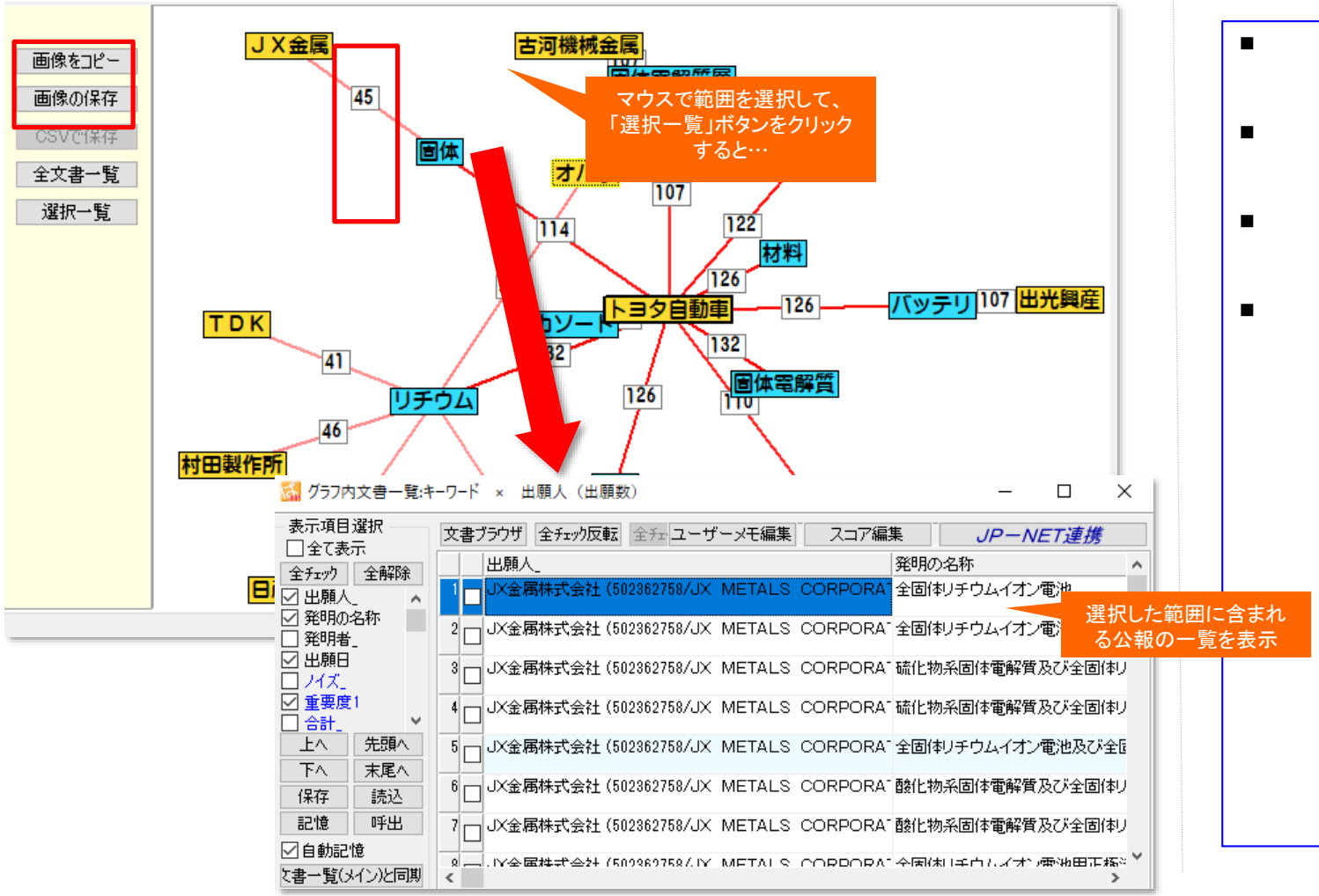
※ 「ぱっとマイニング・ビューア」では、グラフを書き変えない限り、マイメニューに登録されたままのものが表示されますが、関連図のノード固定はマイメニューに登録されません。ご注意ください。

内側と外側の要素が、X軸の特徴を浮き彫りにする！

グラフ作成機能14

選択範囲に含まれる文書だけを抽出できる――関連図

範囲選択した文書が一覧表示できるようになりました！

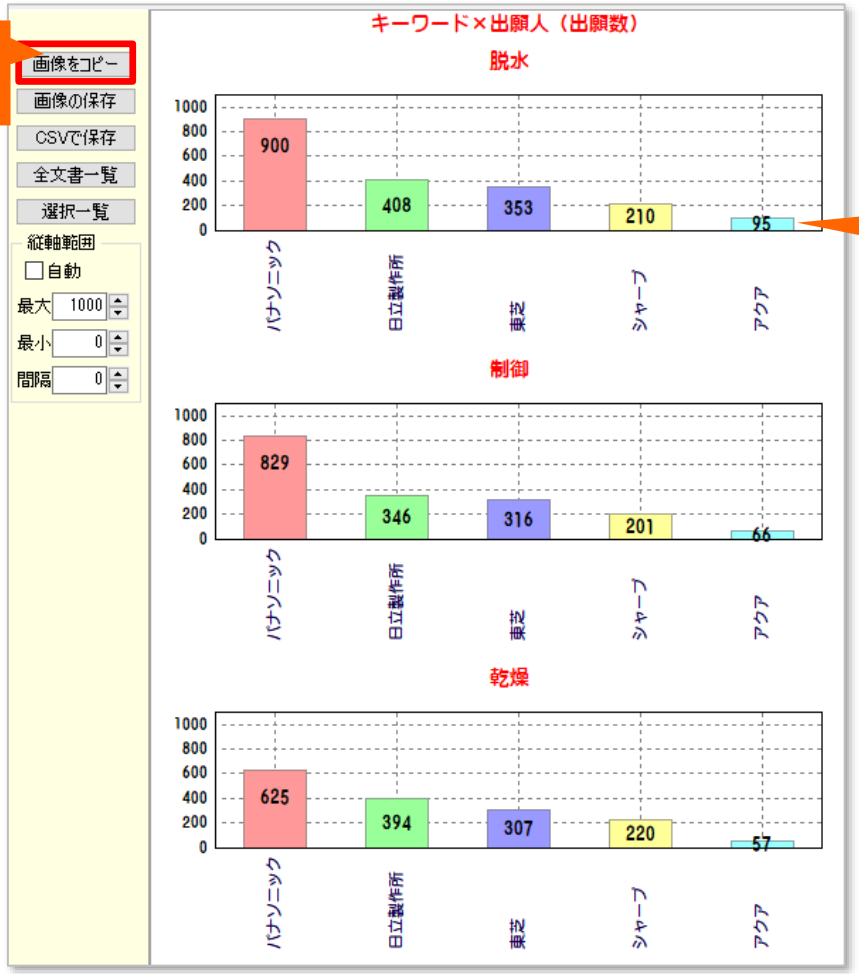


- 「関連図」で気になる範囲をマウスで選択すると、その範囲に含まれるラベルに対応した公報が一覧表示できます。
- グラフ画面左の「全文書一覧」ボタンをクリックすると、グラフ内に含まれるすべての公報の一覧が表示されます。
- 「選択一覧」ボタンをクリックすると、選択した範囲に含まれる公報の一覧が表示されます。
- 右クリックメニューにも、「選択した文書一覧」を追加しました。

グラフ作成機能15

グラフ作成：複数グラフ

それぞれのグラフの画像やデータをまとめて保存できる



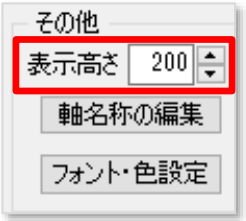
「表示高さ」を調節すると見比べやすくなる

ここでの注意ポイント！

■ 複数グラフ

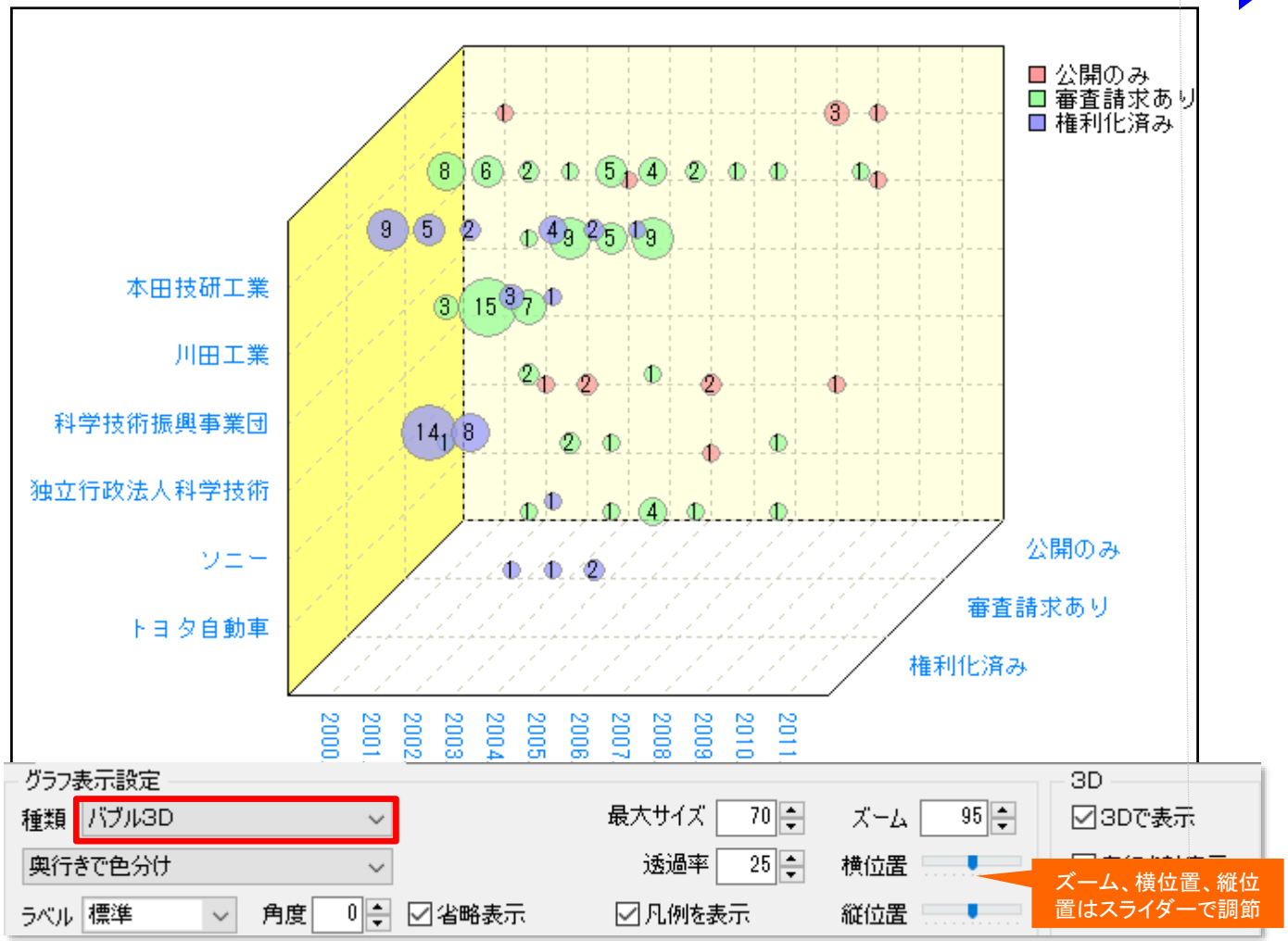
グラフの種類で 、
「複数_棒」
「複数_折線」
「複数_バブル」
「複数_データ表」
が選択できます。

複数のグラフを縦に並べ、比較しやすく表示します。



グラフ作成機能16

グラフ作成：3Dバブル



ここでの注意ポイント！

■ 3Dバブル

左の図の、「キーワード」×「項目」×「コード」×「文書数」のように、タテ×ヨコ×奥行×数量の4つの軸でグラフが作成できます。
戦略分析で「3Dバブル」が選択できるのは、
「競合出願時系列分析」、
「項目／キーワード分析」 です。
グラフブラウザからは、いつでも「3Dバブル」が選択できます。

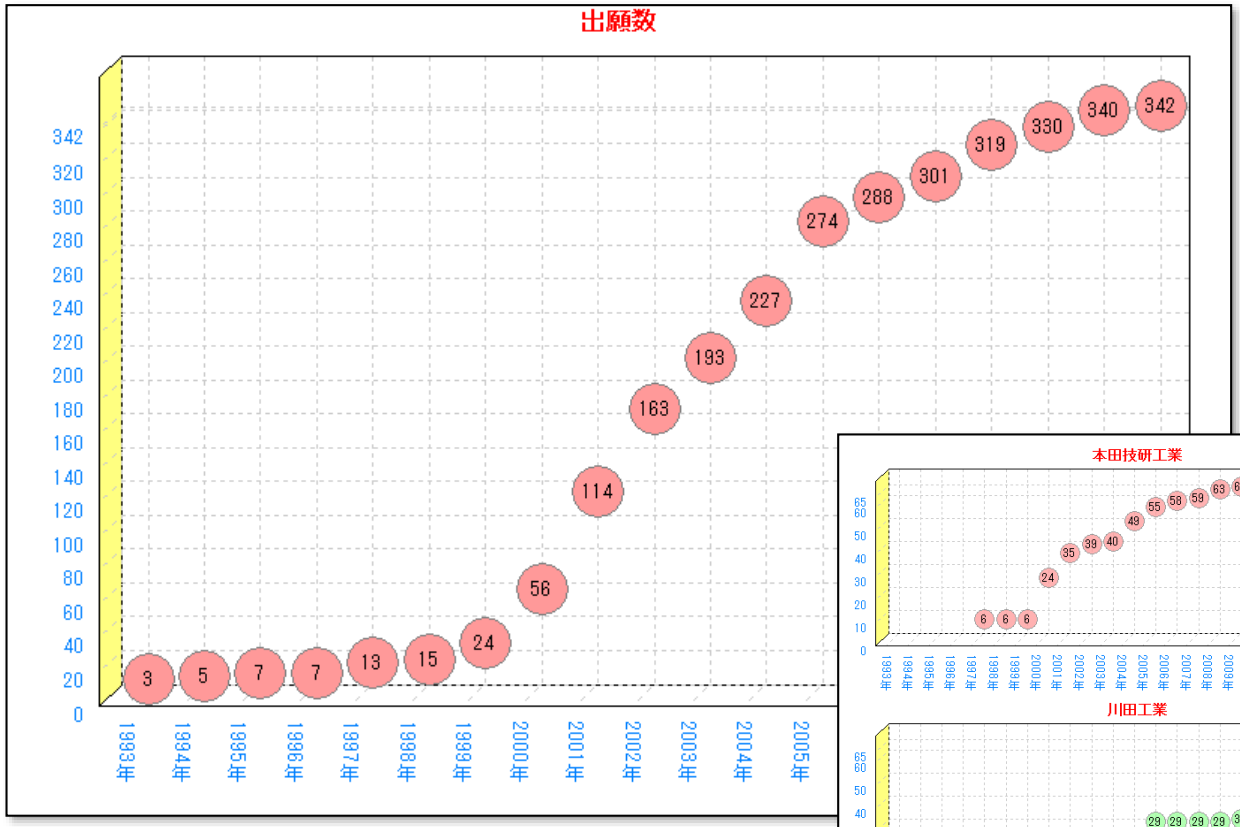
Shiftキーを押しながらマウス操作をすると、「回転」「仰角」のスライダと同じ操作が行えます。

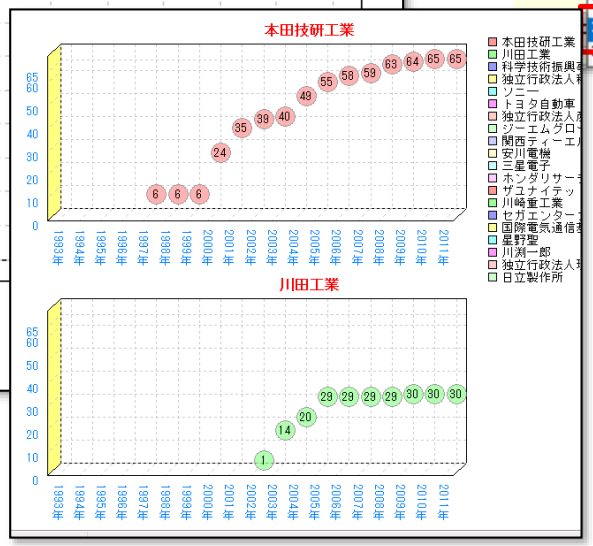
Ctrlキーを押しながらマウス操作をすると、、「ズーム」「奥行き」のスライダと同じ操作が行えます。

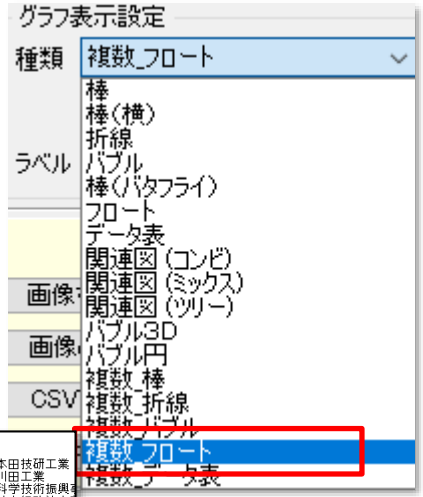
グラフ作成機能17

グラフ作成：フロート

X軸とY軸を選択（例：出願年×出願人）して、複数フロートでグラフ実行すると「複数のグラフ」を比較する事ができる！







グラフ種類に「フロート」と「複数_フロート」を追加しました。
折線グラフの線を省略し、ポイントを円にした形になります。

グラフ作成機能18

軸項目の名称編集

グラフの軸項目を好きな表記に変更できる！

右クリックメニューで
名称の変種が可能

グラフの軸項目の編集機能が追加されました。
項目名上で右クリックして、「名称編集」をクリックします。

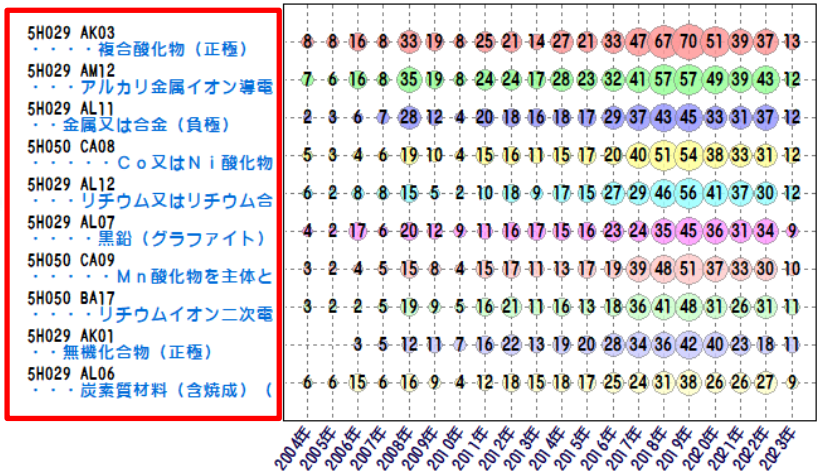
グラフ作成機能19

グラフの軸名を一括編集できる！！

グラフの軸に説明を記載可能

- グラフブラウザの「軸名一括編集」ボタンをクリックすると、「軸の表示名を一括編集」ウィンドウが表示され、軸名を編集することができます。
- また、2行目に説明を追記することができます。
- 分類コード（FI、Fターム、ファセット、IPC、CPC）を軸にしたグラフの場合は、「PMGS説明を2行目に入力」ボタンをクリックすると、コードの説明が入力されます。
- キーワードを軸にしたグラフの場合は、グループワード辞書で　設定したグループワードが、入力されます。
- 出願人・代理人・発明者のいずれかの項目を軸にしたグラフの場合は、名称グループ辞書で設定したメンバーが、入力されます。
- 関連図でもご利用いただけます。

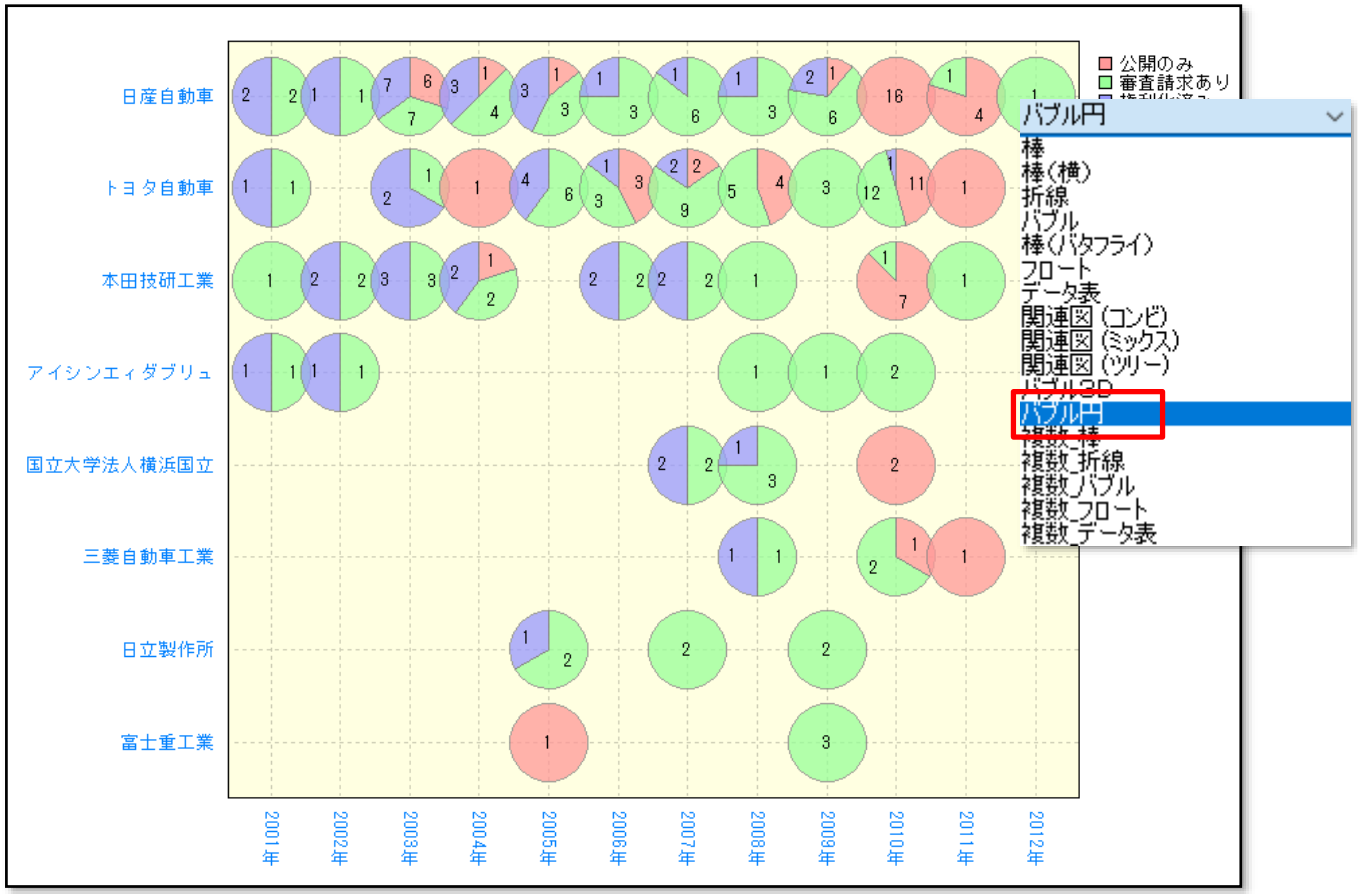
※　「軸名の字数」は、最大99文字まで設定できます。

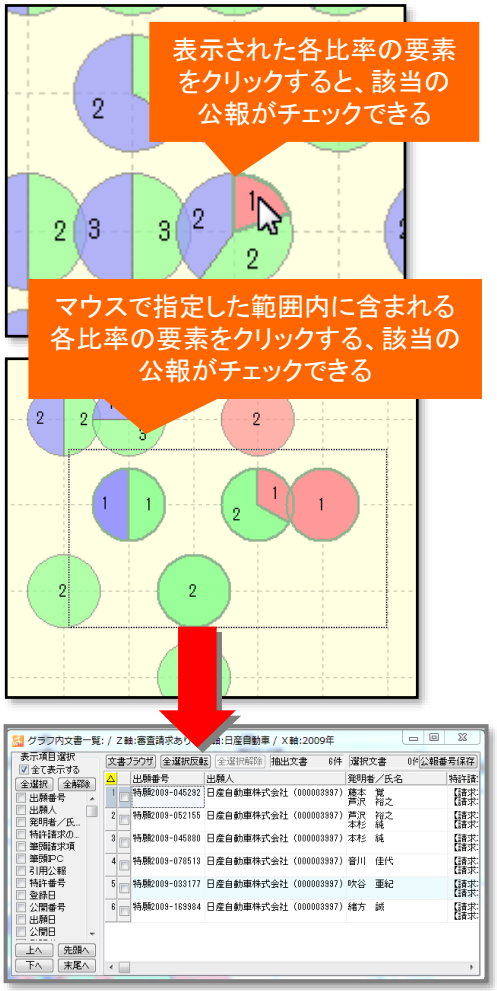


グラフ作成機能20

グラフ作成：バブル円

バブルチャート内に割合グラフが作成可能。



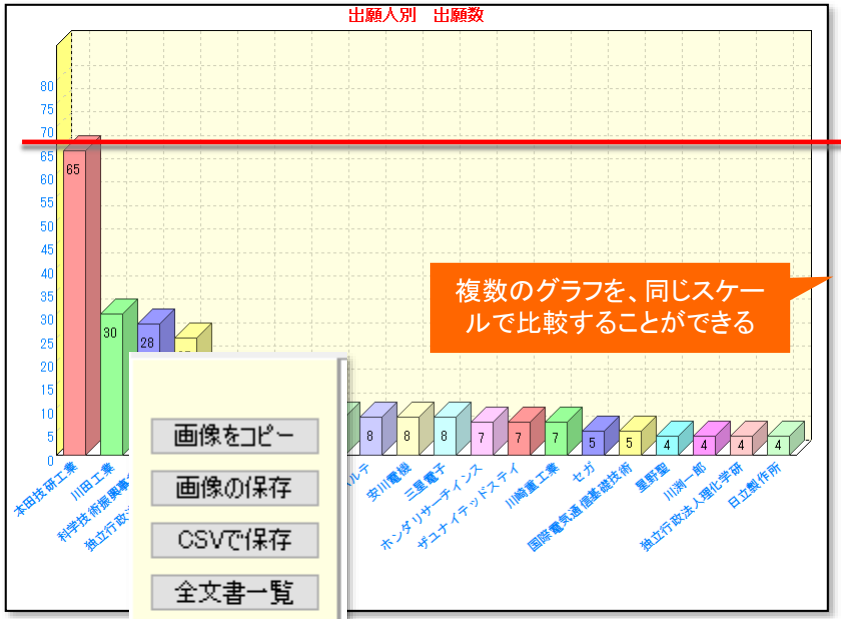


グラフ種類に「バブル円」を設け、バブルチャート内の各バブルに、Z軸で設定した項目データに基づく 円比率グラフを表示します。
バブルの大きさは「大きさを一定」「大きさを可変」の2種が選択できます。

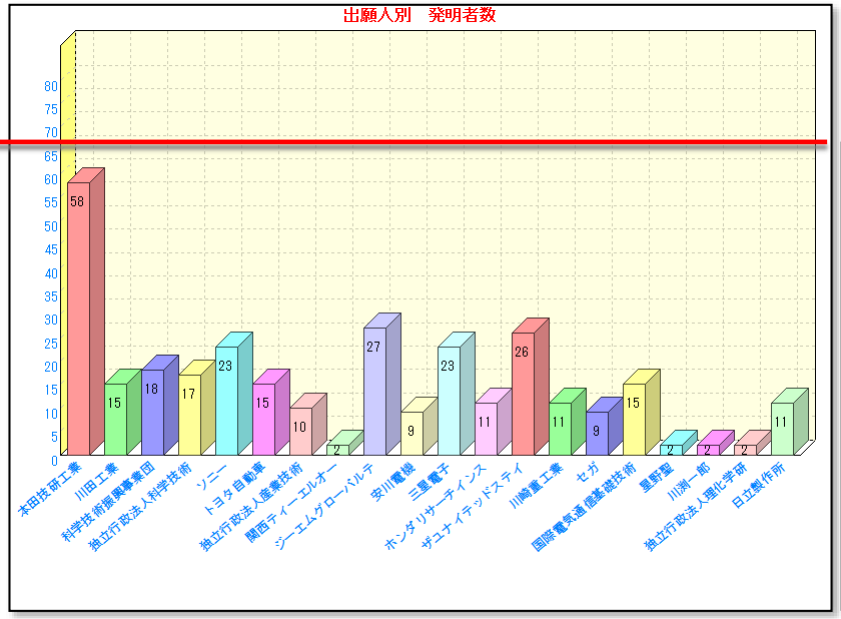
グラフ作成機能21

グラフのスケールを任意に調整できる！！

複数のグラフを比較するときに、スケールを揃えることができる！



グラフのスケールの最大値と最小値を設定できる



範囲の設定は以下のグラフの 縦軸 で使用可能です。

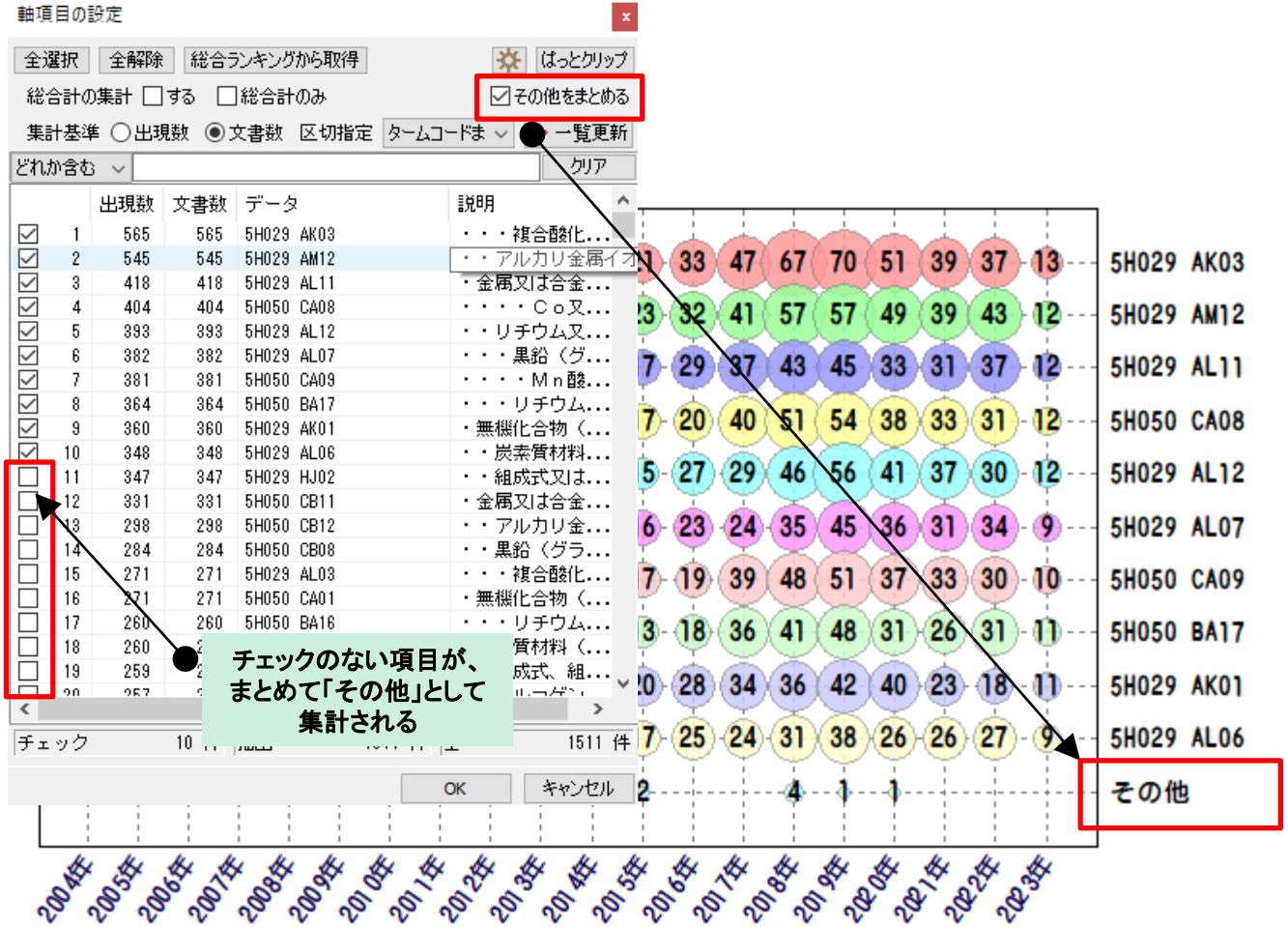
- 「棒グラフ」
- 「折れ線グラフ」
- 「フロート」
- 「複数_棒」
- 「複数_折線」
- 「複数_フロート」

- 数値軸をもつグラフでは、縦軸に表示する範囲を手動で設定できるようになりました。
- 複数のグラフを作成した時、同じスケールでグラフを比較することができます。
- デフォルトでは、「自動」にチェックが入っています。最大、最小の値を変更すると、「自動」のチェックがはずれ、 任意のスケールに変更することができます。
- グラフごと(タブごと)にスケールを変更することができます。グラフを閉じる(タブを閉じる)と、設定は消え、 新しいグラフを作成する際には、「自動」にチェックが入ります。

グラフ作成機能22

その他をまとめる機能

チェックを付けていない項目を「その他」として合算

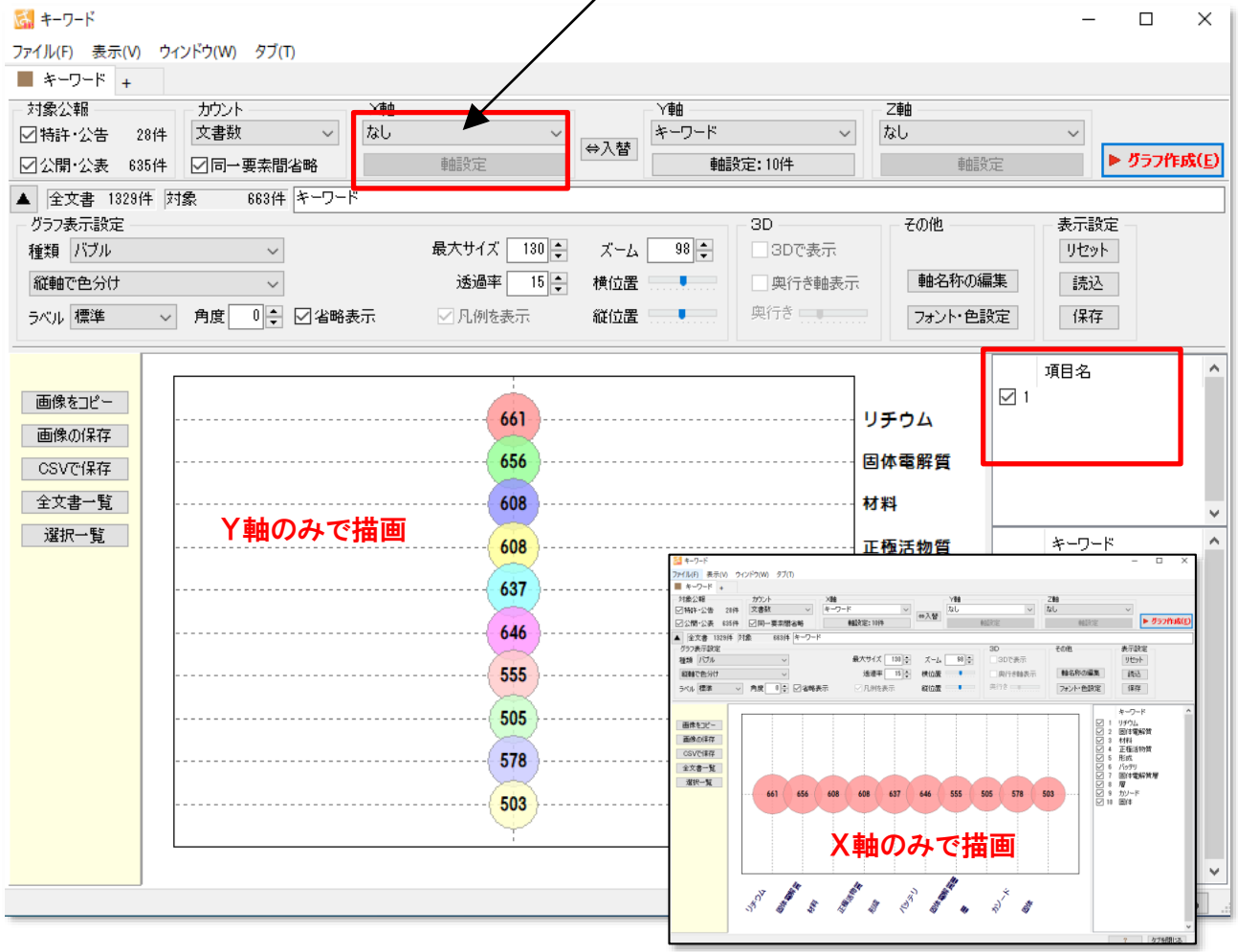


- グラフ作成時に、軸項目としてチェックを付けなかった項目を、まとめて「その他」としてグラフに描画する機能が搭載されました。
- 『軸設定』をクリックし、「その他をまとめる」にチェックを入れると、チェックのない項目だけをまとめて、「その他」として描画することができます。
- 注目する項目と、その他の項目とを比較するグラフが作成できます。

グラフ作成機能23

Y軸のみでグラフ作成

X軸を「なし」にして、
Y軸だけでグラフを作成



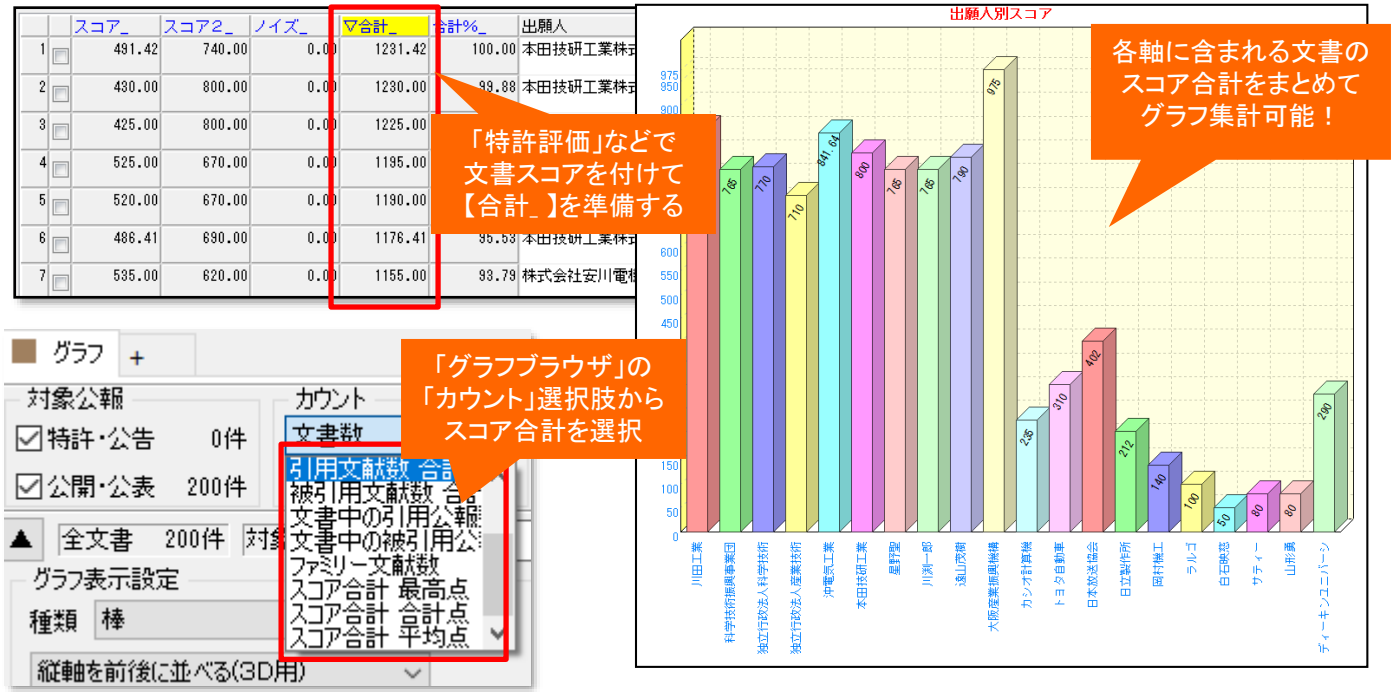
縦軸だけのグラフを作成

- グラフブラウザにおいて、X軸（横軸）を「なし」に設定し、Y軸（縦軸）のみでグラフを作成することがます。
- X軸とZ軸、Y軸とZ軸での作図も可能です。
- X軸を「なし」にした場合でも、グラフ右横の軸リストにはX軸のリストのためのスペースとチェックボックスが表示されます。

グラフ作成機能24

【グラフブラウザ】スコアのカウント

文書のスコアをグラフに反映して傾向を把握！



■ 集計方法について

スコア合計カウントの集計方法は 以下の3種類から選択できます。

- スコア合計 最高点
  該当する文書の中での最高点
- スコア合計 合計点
  該当する文書すべての合算
- スコア合計 平均点
  該当する文書すべての平均点

【スコア合計の集計について】

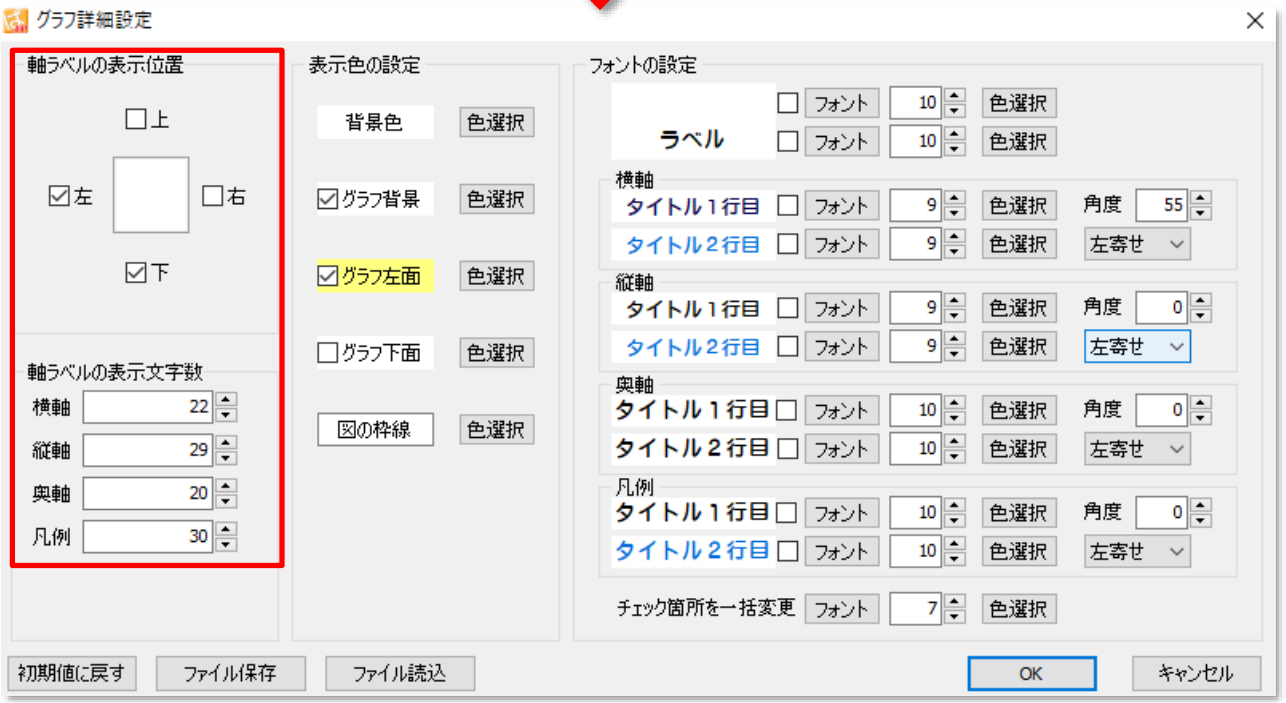
各文書には「スコア」に関する項目は【特許評価1】+【特許評価2_】−【ノイズ_】=【合計_】の式で合計が自動計算されています。

（※ 「特許評価1」で【特許評価1】【ノイズ_】を、「特許評価2」で【特許評価2 [1][2][3]】を付与できます）

グラフブラウザのスコア合計は、この【合計_】を対象として集計を行います。

【グラフブラウザ】軸名の表示位置設定

「フォント・色指定」クリックすると
グラフ詳細設定ウィンドウが開く



ここでの注意ポイント！

■ グラフの軸名の表示位置を上下左右に指示できるようになりました。

「グラフブラウザ」において、グラフの軸名の表示位置を設定することができるようになりました。
「フォント・色指定」をクリックして、グラフ詳細設定ウィンドウを開き、上下左右のいずれかにチェックを入れ、軸ラベルの表示位置を指定します。

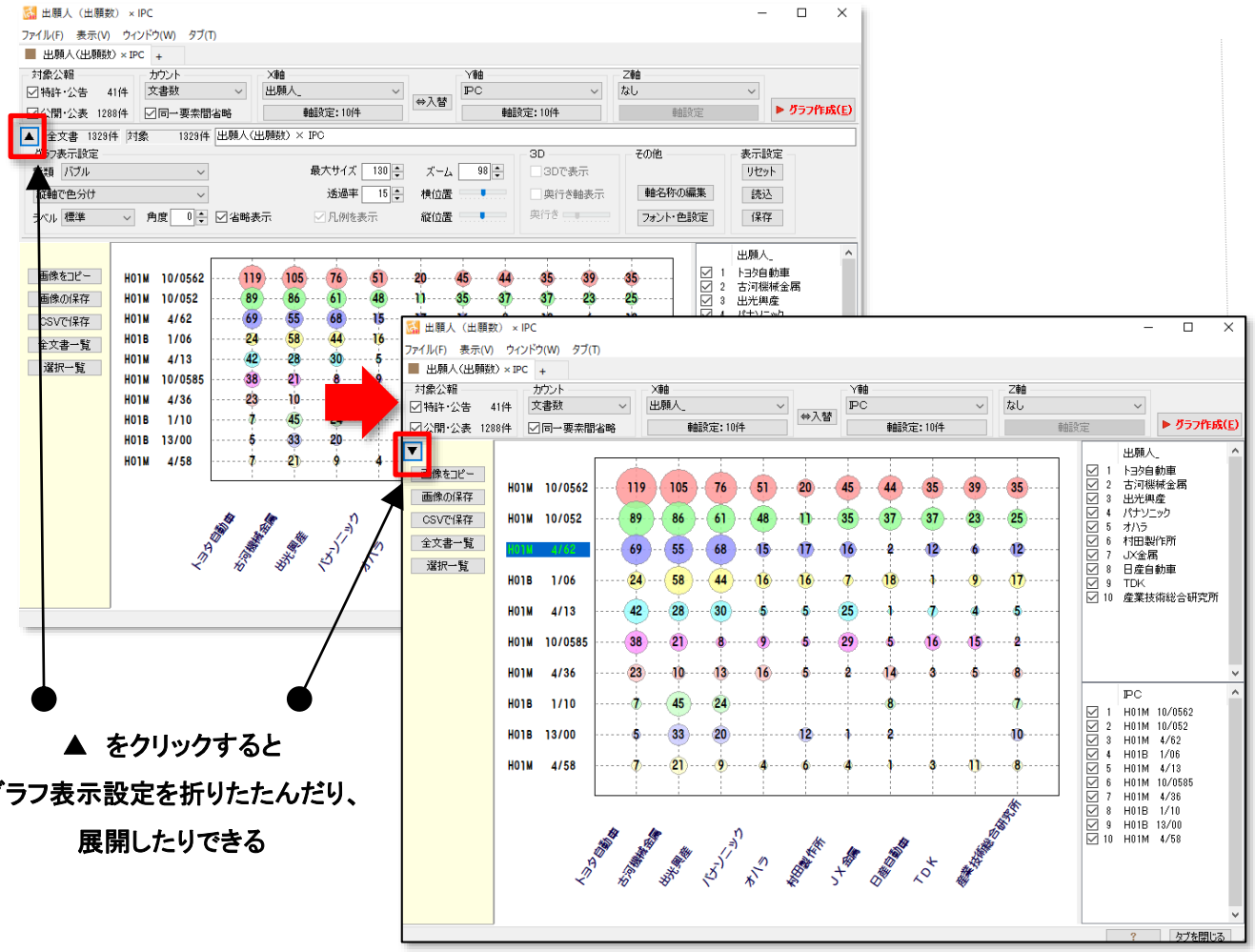
フォントの指定などをより細やかに指定できるようになりました。
縦軸、横軸、奥軸、凡例で、軸名（軸ラベル）の表示文字数を、それぞれ個別に指定できるようになりました。
ワード分解設定」画面に「初期値に戻す」ボタンを追加しました。「適用」ボタンで変更が確定となります。

※ 一時環境での使用の場合、「ぱっとマイニングJP」で登録された時点での情報が反映されます。

グラフ作成機能26

【グラフブラウザ】描画スペースの拡張

▲マークのクリックで、表示設定パネルの開閉



▲ をクリックすると
グラフ表示設定を折りたたんだり、
展開したりできる

■ グラフ表示設定パネルの折りたたみ

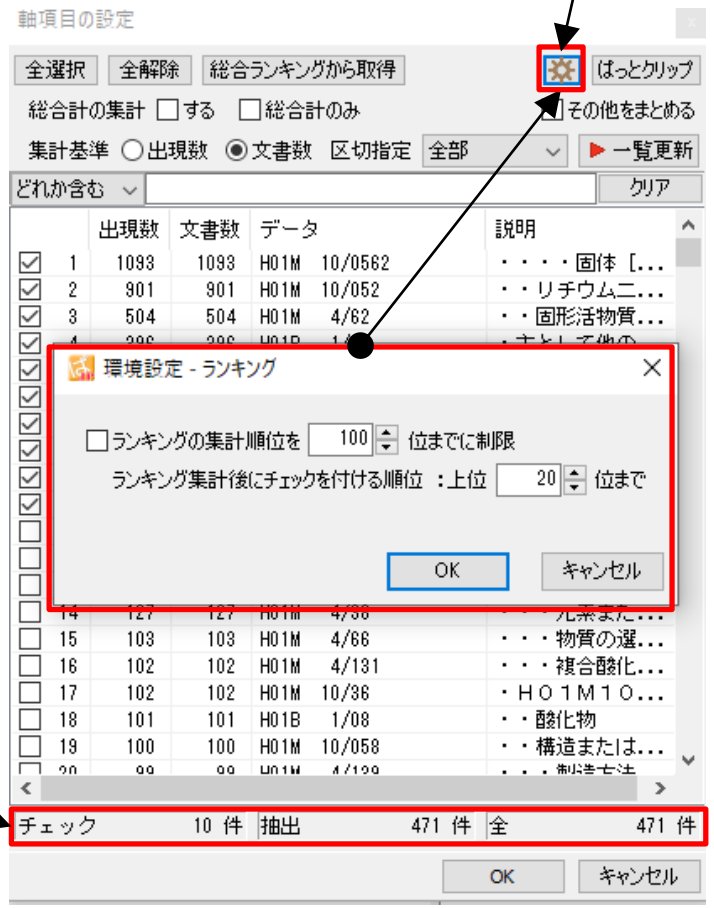
■ 「グラフブラウザ」のグラフ表示設定パネルを折りたたんだり、展開したりできるようになりました。

■ グラフ表示設定パネルの「▲」マークをクリックすると、グラフ表示設定パネルが開閉します。

グラフ作成機能27

【グラフブラウザ】チェック数と全件数の表示

設定アイコンをクリックすると、
ランキング設定ウィンドウが開く



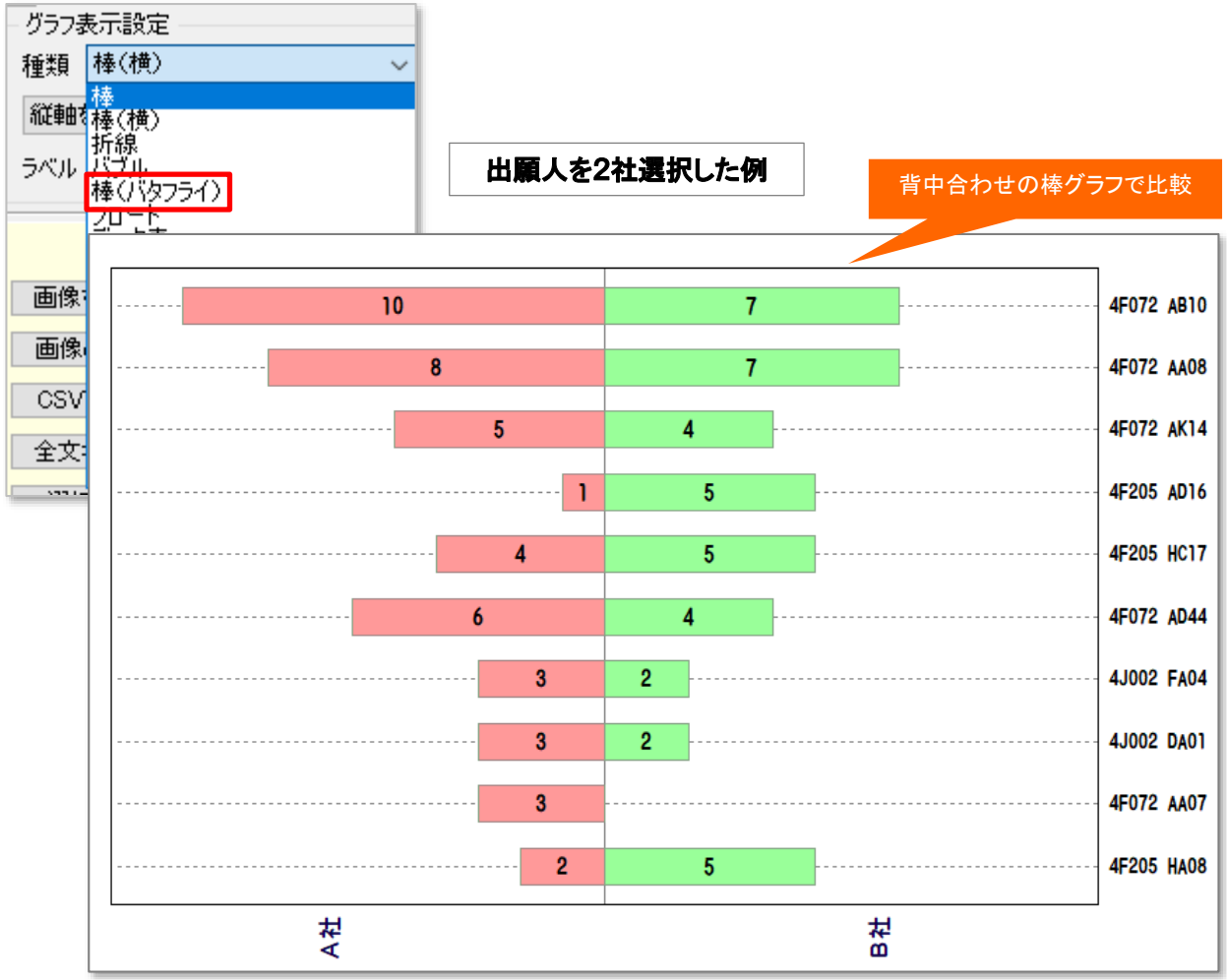
チェックを付けた数と
抽出数、全件数が表
示される

ここでの注意ポイント！

- グラフの軸設定画面に、チェック数と全件数の表示を追加しました。
- 軸設定画面に、ランキング順位の上限や自動チェック数の設定アイコンを追加しました。
- 「軸設定」ボタンをクリックして開く「軸項目の設定」ウィンドウ内に、設定アイコンを配置しました。
- 設定アイコンをクリックすると、「環境設定・ランキング」ウィンドウが開き、ランキングの集計順位の制限やランキング集計後に自動的にチェックをつける順位を変更することができます。
- 「軸項目の設定」ウィンドウ内に、現在、チェックを付けている数の表示と、全件数を表示するようにしました。

グラフ作成機能28

グラフ作成：棒（バタフライ）

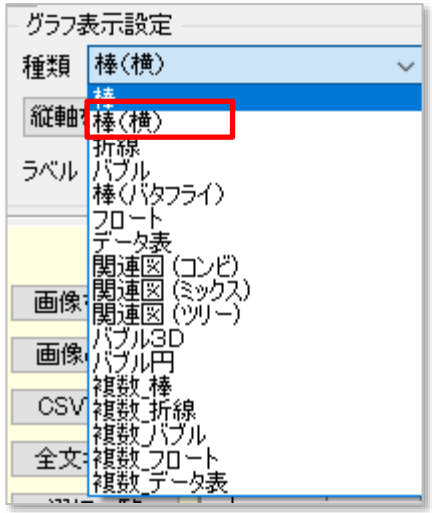


ここでの注意ポイント！

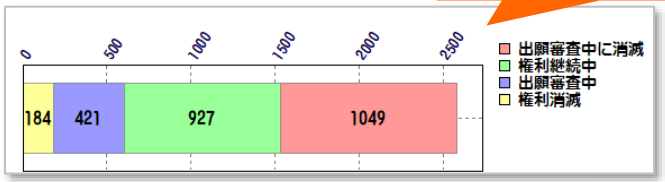
- 横向きの棒グラフを背中合わせに表示することにより、数量対比が見やすく表示できます。
- X軸に出願人等を選択するパターンが一般的ですが、工夫次第で色々な比較に利用できます。
- デフォルトの選択（上位20位まで）で作成するとグラフが煩雑になるので、「軸設定」で比較する対象を絞り込んでからグラフを作成します。

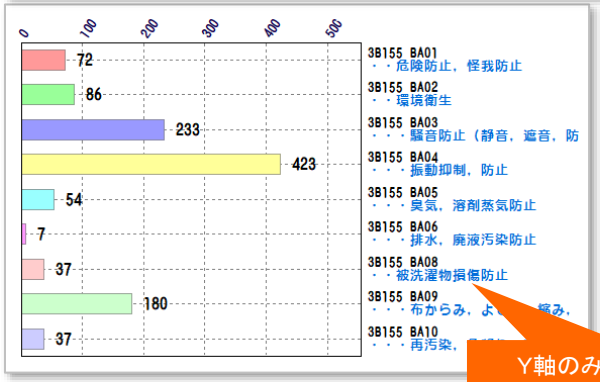
グラフ作成機能28

グラフ作成：棒（横）

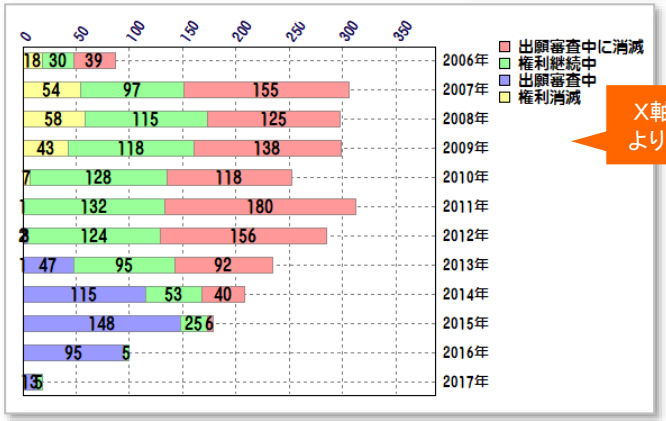


X軸のみを入力することで
全体総数とその内容が確認できる





Y軸のみを入力することで
横向きの棒グラフが作成可能に



X軸とY軸を入力することで
より詳しいグラフを作成可能

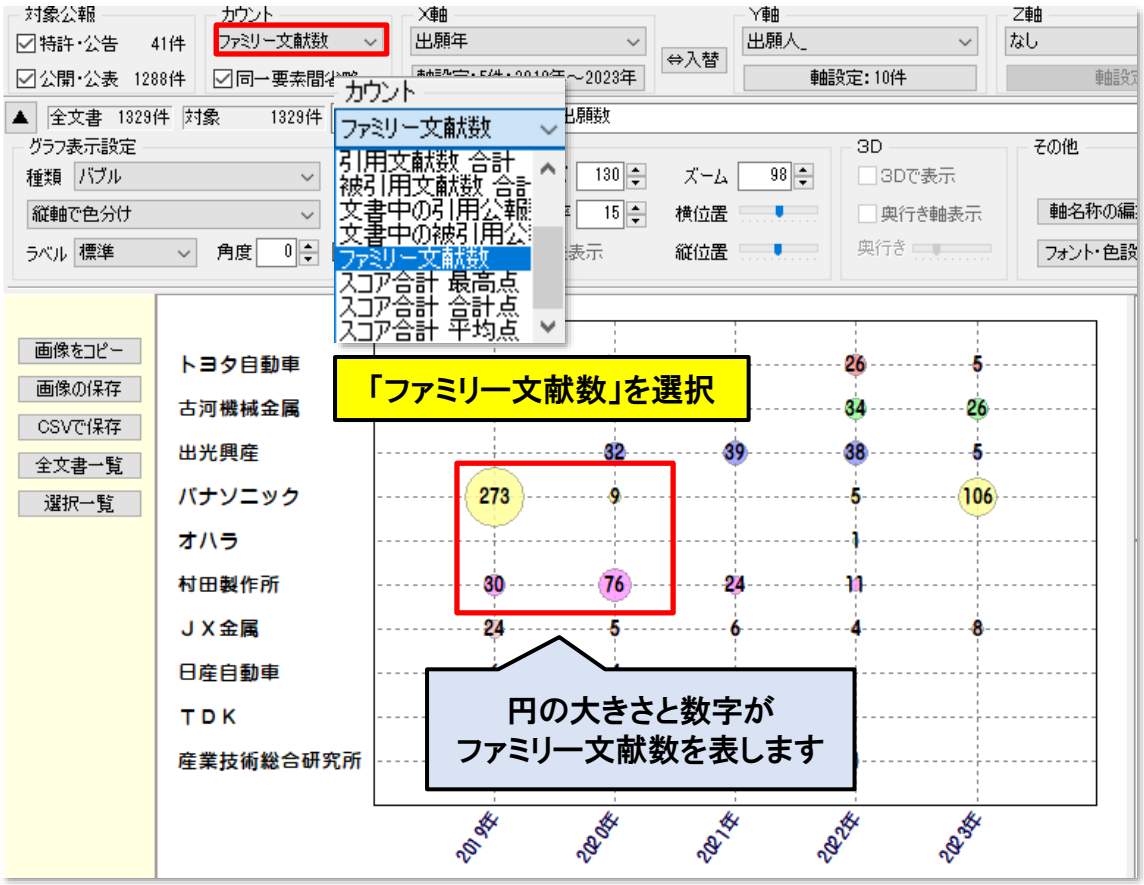
ここでの注意ポイント！

- 棒グラフを横向きに描画します。出願人名や分類コードなど、文字数が多くなりがちな項目を縦軸に選択すると、見やすいグラフが作成できます。
- 横軸の棒グラフを作成する場合は、Y軸だけを使用し、グラフの種類は「棒グラフ（横）」を選択します。
- X軸やZ軸を利用したグラフも作成できます。

グラフ作成機能29

ファミリー文献数でグラフを作成する機能を追加 【日本特許対応版】

グラフブラウザ



ファミリー文献数を可視化

- グラフブラウザ内のカウント項目に「ファミリー文献数」を追加しました。
- 使用例：ファミリー文献数をグラフ内に表現して、出願人ごとの海外戦略を可視化します。
- グラフ ＞ カウント欄で「ファミリー文献数」を選択してグラフ作成ボタンをクリックしてください。
- グラフ作成時のカウントを「出願数」「発明者数」「被引用件数」「ファミリー文献数」と切り替える事で
様々な視点からの分析が可能になります。